

島根県教育庁
埋蔵文化財調査センター 年報 18

平成21年度

2010年3月

島根県教育委員会

目 次

| | |
|----------------------------|-----------|
| センターの概要 | 1 |
| I 平成21年度の体制 | 2 |
| 1. 組 織 | 2 |
| 2. 職 員 一 覧 | 2 |
| II 埋蔵文化財活用事業 | 4 |
| 1. 講 演 会 | 4 |
| 2. 現 地 説 明 会 | 4 |
| 3. いにしえ倶楽部 | 4 |
| 4. いにしへの島根文化財活用事業 | 5 |
| (1) 心に残る文化財子ども塾 | |
| (2) 「ふるさと島根」遺物貸出事業 | |
| (3) 古代フェスタin夏休み | |
| (4) 古代フェスタ | |
| (5) 教員のための文化財活用講座 | |
| (6) 『新発見！とっとりしまね発掘速報展』 | |
| (7) そ の 他 | |
| 5. 埋蔵文化財調査センター見学案内 | 7 |
| 6. 職 場 体 験 | 7 |
| 7. 講 師 な ど | 7 |
| 8. 資料の貸出・調査など | 8 |
| (1) 資 料 調 査 | |
| (2) 写真貸出など | |
| (3) 資 料 貸 出 | |
| (4) そ の 他 | |
| (5) 施 設 利 用 | |
| (6) ホームページ閲覧数 | |
| III 研修・調査指導事業 | 11 |
| 1. 研 究 | 11 |
| 2. 埋蔵文化財基礎研修 | 11 |
| 3. 埋蔵文化財専門研修 | 11 |
| 4. 市町村調査指導 | 12 |
| IV 会議運営・参加 | 12 |

| | |
|---------------------------------------|----|
| V 発掘調査事業 | 13 |
| 1. 松江第五大橋建設に伴う発掘調査 | 14 |
| 2. 松江島根線道路建設に伴う発掘調査 | 16 |
| 3. 国道431号道路改築事業（川津バイパス）に伴う発掘調査 | 17 |
| 4. 一般国道9号（多伎朝山道路）改築事業に伴う発掘調査 | 18 |
| 5. 一般国道9号（仁摩温泉津道路）改築事業に伴う発掘調査 | 19 |
| 6. 国道431号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う発掘調査 | 20 |
| 7. 矢尾今市線建設に伴う発掘調査 | 21 |
| 8. 一般県道多伎インター線事業に伴う発掘調査 | 21 |
| 9. 一般国道9号（益田道路）改築事業に伴う発掘調査 | 23 |
| 10. 一般国道9号（浜田三隅道路）改築事業に伴う発掘調査 | 24 |
| 11. 学術調査等 | 25 |
| (1) 史跡出雲国府跡 | |
| (2) 地域間交渉調査（墓制調査事業） | |
| (3) 保存処理 | |
| (4) 分布調査 | |
| VI 県内発掘調査一覧 | 28 |
| VII 刊 行 物 | 34 |
| 1. 年 報 | |
| 2. ドキ土器まいぶん | |
| 3. 発掘調査報告書 | |
| 4. 発掘調査概報 | |
| 5. 発掘だより | |

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、大型の四隅突出型墳丘墓として著名な西谷3号墓や全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（展示・講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL：0852-36-8608 FAX：0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

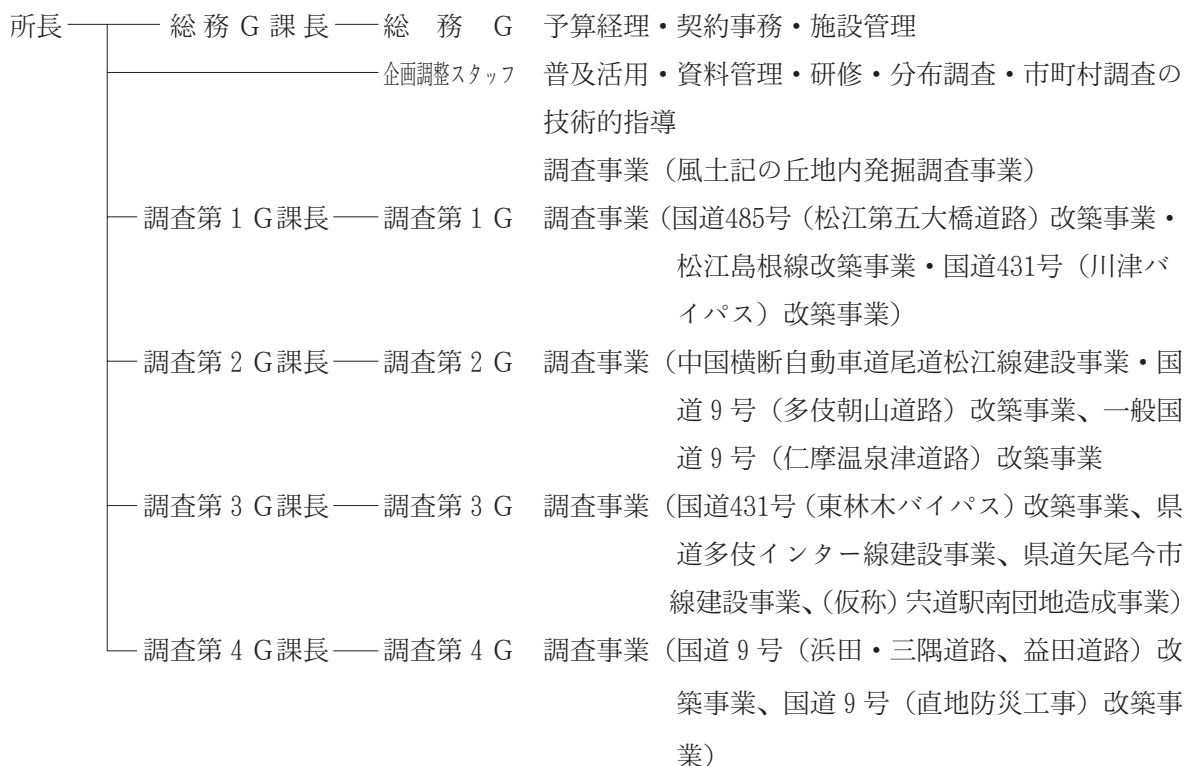
施設と規模

| | | | | | | |
|-----|-----------|--------|----------|-----------|--------|--------|
| 本館棟 | 展示室 | 175㎡ | 収蔵庫棟 | 収蔵庫 | 1,448㎡ | |
| | 研修室 | 155㎡ | | 機材庫・車庫 | 172㎡ | |
| | 所長室 | 25㎡ | | 小計 | | 1,620㎡ |
| | 事務室・調査研究室 | 315㎡ | いにしえ学習館棟 | 体験学習室 | 95㎡ | |
| | 図書室 | 73㎡ | | 整理復元室 | 576㎡ | |
| | 資料保管室 | 75㎡ | | 木器保管展示室 | 197㎡ | |
| | 特別収蔵室 | 122㎡ | | 仮収蔵室（兼写場） | 86㎡ | |
| | 写場 | 33㎡ | | 収蔵庫 | 2,463㎡ | |
| | 整理復元室 | 429㎡ | | その他 | 279㎡ | |
| | 理化学分析室 | 35㎡ | | 小計 | | 3,696㎡ |
| | 鉄器処理室 | 35㎡ | | 合計 | | 7,835㎡ |
| | 木器処理室 | 35㎡ | | | | |
| | 水洗室 | 70㎡ | | | | |
| その他 | 942㎡ | | | | | |
| 小計 | | 2,519㎡ | | | | |

I 平成21年度の調査体制

1. 組織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター



2. 職員一覧

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|--------|--------------|------------|-------|
| 所長 | 川原和人 | 企画調整スタッフ | |
| 総務グループ | | 主幹 | 萩雅人 |
| 総務G課長 | 山根雅之 | 文化財保護主任 | 中川寧 |
| 主幹 | 上野幸美 | | 勝部智明 |
| | 来海弘志 | | 神柱靖彦 |
| | 片桐浩孝 | 調査第 1 グループ | |
| 調査補助員 | 澤田正明 | 調査第 1 G 課長 | 宮澤明久 |
| | 柴崎晶子 | 主幹 | 内田律雄 |
| 事務補助員 | 林田好子 | 文化財保護主任 | 原田敏照 |
| | 錦織要美 | | 伊藤智 |
| | 長廻範子 | | 伊藤徳広 |
| | (平成21年12月まで) | 調査補助員 | 阿部賢治 |
| | 林美由紀 | | 是田和美 |
| | (平成22年1月から) | | 松崎恵美子 |

| 職 名 | 氏 名 |
|------------|-------------|
| 調査補助員 | 平 井 大 介 |
| | 上 山 直 志 |
| | 松 山 智 弘 |
| | 野 津 研 吾 |
| | 寺 本 和 明 |
| | 大 田 晴 美 |
| 調査第 2 グループ | |
| 調査第 2 G 課長 | 足 立 克 己 |
| 主幹 | 大 庭 俊 次 |
| 企画員 | 間 野 大 丞 |
| | 平 石 充 |
| 文化財保護主任 | 岩 橋 孝 典 |
| (兼)文化財保護主任 | 根 本 登三男 |
| | 吾 郷 博 昭 |
| (兼)文化財保護主事 | 錦 織 幸 弘 |
| | 清 水 裕 司 |
| | 佐々木 知 子 |
| | (平成21年9月まで) |
| 調査補助員 | 田 中 裕 貴 |
| | 糸 川 寿 幸 |

| 職 名 | 氏 名 |
|------------|---------|
| 調査第 3 グループ | |
| 調査第 3 G 課長 | 廣 江 耕 史 |
| 主幹 | 今 岡 一 三 |
| 文化財保護主任 | 久保田 一 郎 |
| | 東 山 信 治 |
| 調査補助員 | 岩 橋 康 子 |
| | 飯 塚 由 起 |
| | 福 田 沙 織 |
| | 井 谷 朋 子 |
| | 田 中 玲 子 |
| | 竹 下 尚 志 |
| 調査第 4 グループ | |
| 調査第 4 G 課長 | 丹羽野 裕 |
| 主幹 | 柳 浦 俊 一 |
| 企画員 | 宮 本 正 保 |
| 文化財保護主任 | 東 森 晋 |
| (兼)文化財保護主任 | 板 倉 芳 朗 |
| | 佐々木 誠 |
| (兼)文化財保護主事 | 仙 田 浩 志 |
| 調査補助員 | 渡 辺 聡 |

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために、調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用活動を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

日 時：平成21年12月12日 会 場：島根県職員会館（松江市内中原町）

参加者：約80名

講演：「古墳と鏡の副葬—中国鏡を中心に—」（島根大学法文学部准教授 岩本 崇）

古墳紹介：「庵寺古墳群」（県埋蔵文化財調査センター 大庭俊次）

「苅捨古墳」（県埋蔵文化財調査センター 内田律雄）

「奥才古墳群」（松江市教育委員会 徳永 隆）

シンポジウム：「島根の前期古墳を考える」岩本 崇・内田律雄・大庭俊次・徳永 隆

2. 現地説明会

発掘調査の成果を地元へ公開する。

| 遺 跡 名 | 開 催 日 | 場 所 | 参加者 |
|--------------|--------------|---------------|------|
| 堂ノ上遺跡 | 平成21年 8 月23日 | 益田市久城町 | 60名 |
| 一の谷古墳・古屋敷Ⅱ遺跡 | 平成21年 9 月19日 | 松江市下東川津町・西川津町 | 50名 |
| 史跡出雲国府跡 | 平成21年11月14日 | 松江市大草町 | 50名 |
| 米坂古墳群 | 平成21年11月15日 | 松江市西尾町 | 70名 |
| 堂ノ上遺跡 | 平成21年11月28日 | 益田市久城町 | 130名 |
| 計 | | | 360名 |

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財調査センターで保管している出土遺物などを活用した講座を行い、文化財をより身近に感じてもらうことを目的とした講座を開催する。

| | 会 場 | 内 容 | 参加者 | 実 施 日 | 備 考 |
|---------------------------------|-------------------------|-----------------------------|------------|----------------------------|------------------------------------|
| 第48回『スクモ塚古墳 はにわ作り教室』 | 益田市久城町 | 開講式・埴輪についての講座・埴輪作り・焼き上げ・閉講式 | 50名 | 7月19日～ 11月29日 (のべ4回) | NPO法人久城 伝統文化顕彰会、 益田市教育委員会と共催 |
| 第49回『親子で考古学体験 この夏休み、君も考古学者になろう』 | 埋蔵文化財調査センター (松江市打出町) | 発掘調査キットによる「発掘体験」、遺物の水洗い、拓本 | 10組 30名 | 8月22日 | |
| 第50回『湖上で学ぶ「出雲国風土記』 | 宍道湖遊覧船 「はくちょう号」船内 | 『出雲国風土記』にゆかりのある地名や遺跡を解説 | 54名 | 10月17日 | |

4. いにしへの島根文化財活用事業

(1) 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校の児童生徒を対象に、郷土の歴史や地域の文化財などを題材とした体験的教育活動を行い、文化財に対する興味関心を高めることを目的に実施する。

| | 学 校 | 学年 | 人数 | 実施日 | 時間 | 内 容 |
|-------|-----------|-----|------|----------|-----|---------------|
| 安来市 | 宇賀荘小学校 | 6 | 12 | 5/18 | 3 | 勾玉作り |
| 益田市 | 東仙道小学校 | 6 | 13 | 5/19 | 2-3 | 勾玉作り |
| 奥出雲町 | 布勢小学校 | 6 | 19 | 5/19 | 3 | 古代食作り |
| 雲南市 | 中野小学校 | 6 | 6 | 5/20 | 3 | 古代食作り |
| 出雲市 | 四絡小学校 | 6 | 96 | 5/20 | 2-3 | 勾玉作り |
| 出雲市 | 湖陵小学校 | 6 | 37 | 5/21 | 2 | 奈良の大仏パネルの組み立て |
| 雲南市 | 塩田小学校 | 全校 | 10 | 5/22 | 2 | 縄文クッキー作り |
| 大田市 | 五十猛小学校 | 6 | 12 | 5/22 | 4 | 古墳見学、埴輪作り |
| 松江市 | 島根大学附属中学校 | 3 | 26 | 5/26.7/7 | 2 | 勾玉作り |
| 奥出雲町 | 高田小学校 | 3-6 | 11 | 5/27 | 2-3 | 埴輪作り |
| 松江市 | 持田小学校 | 6 | 49 | 5/28 | 2 | 勾玉作り |
| 松江市 | 生馬小学校 | 6 | 22 | 5/28 | 2 | 勾玉作り |
| 大田市 | 久屋小学校 | 6 | 9 | 5/29 | 3 | 勾玉作り |
| 出雲市 | 窪田小学校 | 6 | 11 | 5/29 | 2 | 勾玉作り |
| 江津市 | 江津清和養護学校 | 6 | 1 | 6/2 | 3 | 土器作り |
| 雲南市 | 久野小学校 | 5・6 | 9 | 6/2 | 1-2 | 勾玉作り |
| 出雲市 | 国富小学校 | 6 | 20 | 6/5 | 2 | 中村1号墳・上島古墳の見学 |
| 吉賀町 | 七日市小学校 | 6 | 17 | 6/5 | 2 | 勾玉作り |
| 奥出雲町 | 三成小学校 | 6 | 23 | 6/5 | 2 | 勾玉作り・センター見学 |
| 斐川町 | 中部小学校 | 6 | 66 | 6/5 | 2.5 | 大念寺古墳の見学 |
| 雲南市 | 木次小学校 | 6 | 33 | 6/8 | 3 | 古代食作り |
| 浜田市 | 有福小学校 | 全校 | 11 | 6/10 | 3 | 勾玉作り |
| 松江市 | 長江小学校 | 5.6 | 17 | 6/11 | 3 | 勾玉作り |
| 東出雲町 | 揖屋小学校 | 6 | 67 | 6/16 | 3 | 勾玉作り |
| 大田市 | 温泉津中学校 | 全校 | 69 | 6/17 | 3 | 石見銀山遺跡巡り |
| 奥出雲町 | 馬木小学校 | 6 | 13 | 6/17 | 3 | 土器作り |
| 浜田市 | 宇野小学校 | 3・6 | 6 | 6/25 | 3 | プラスチック銅鐸作り |
| 隠岐の島町 | 有木小学校 | 6 | 12 | 7/2 | 2 | 古代食体験 |
| 隠岐の島町 | 五箇小学校 | 6 | 11 | 7/3 | 2 | 土器作り |
| 江津市 | 津宮小学校 | 6 | 65 | 9/24 | 6 | 遺跡見学、土器作り |
| 大田市 | 川合小学校 | 6 | 18 | 10/7 | 2 | 石見銀山の歴史 |
| 隠岐の島町 | 都万小学校 | 6 | 11 | 10/8 | 2-4 | 鏡作り、勾玉作り |
| 隠岐の島町 | 西郷南中学校 | 2 | 36 | 12/1 | 1.5 | 和銅開ほう作り |
| 計 | | | 838名 | | | |

(2) 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

今年度から埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸し出して、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用することを目的に、「ふるさと島根の遺物」貸出事業を始めた。

対 象：島根県内所在の学校教育機関、社会教育・生涯学習を目的とする公共機関

内 容：縄文時代：狩猟セット（3）、採集セット（2）、土器セット（6）

弥生時代：食卓セット（3）、稲作セット（2）

今年度は宣伝が不十分であったので、1校（3セット）の応募であった。

(3) 古代フェスタin夏休み2009 『土笛を作って古代の音色を奏しよう』

平成21年8月7日 埋蔵文化財調査センター研修室 参加者61名

次に述べる「古代フェスタ」に多くの方の参加を呼びかけるため、プレイベントして開催した。

(4) 第19回古代フェスタ 平成21年9月12日 古墳の丘古曾志公園 参加者約200名

古墳の丘古曾志公園の設置目的である、「古代文化」を楽しみながら学習するための事業として、小中学生及びその家族を対象に、古代体験学習やクイズで構成した文化的なイベントとして開催した。

① 古代の技術にチャレンジコーナー

勾玉作り・火起こし・プラスチック銅鐸作り・はにわ作り

② 古代クイズ大会～古墳公園をもっと知ろう

(5) 教員のための文化財活用講座 平成21年8月19日

県内の学校教員向けに、地域の文化財や郷土の歴史資料などを活用した学習活動についての研修を行い、小中学校での教育活動における、身近な地域に根ざした学習の活動に資する。

講 師：埋蔵文化財調査センター職員・古代出雲歴史博物館学芸員

会 場：古代出雲歴史博物館 体験工房 参 加 者：小中学校教員 14名

講 義 1：心に残る文化財子ども塾事業

講 義 2：「ふるさと島根の遺物」貸し出し事業の紹介

講 義 3：授業で使えるワークシートの紹介

講 義 4：古代出雲歴史博物館の利用・活用方法など

実 技：低融点金属による鏡・プラスチック銅鐸の製作

古代出雲歴史博物館館内の施設見学・意見交換会

(6) 『新発見！とっとりしまね発掘速報展』

この企画は、山陰両県魅力向上作戦会議で行うこととなった事業のうち、文化財関連企画として平成16年度から実施しているものである。これは、今年度の発掘調査で発見された資料や、当地で初公開のものなど、両県における最新の調査成果を一堂に集め、両県民に一早く公開するものである。

○平成22年1月16日～2月14日 【島根会場】松江市立鹿島歴史民俗資料館

○平成22年2月20日～3月14日 【鳥取会場】鳥取市あおや郷土館

主 催：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター・鳥取県埋蔵文化財センター

共 催：松江市教育委員会・松江市立鹿島歴史民俗資料館・鳥取市あおや郷土館

展示内容：堂ノ上遺跡（弥生・古墳時代）、一の谷古墳（古墳時代）、史跡出雲国府跡（奈良・平安時代）、米坂古墳群（室町時代）ほか

○平成22年1月16日 展示解説

○平成22年1月30日 調査成果報告会（鹿島文化ホール）・展示解説

(7) そ の 他

○サンレイクフェスティバル2009に参加 平成21年10月18日

会 場：島根県立青少年の家「サン・レイク」

勾玉作り・火起こし体験

5. 埋蔵文化財調査センター見学案内

(※平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの)

職員が案内し、センターの展示室や整理作業を見学する。

| 月 日 | 見 学 者 (団体) | 時間(分) | 人数 | 見学 | 体験 | 備 考 |
|--------|--------------------|-------|------|----|----|--------|
| 5月8日 | 雲南市立大東小学校6年 | 90 | 43 | ○ | ○ | 勾玉作り |
| 6月1日 | なごやか会つくしんぼ | 30 | 24 | ○ | | |
| 6月25日 | 飯南町立志々小学校5.6年 | 110 | 7 | ○ | | 古墳公園見学 |
| 7月8日 | 奥出雲町布勢公民館 | 60 | 40 | ○ | | |
| 9月11日 | くにびき学園社会文化科 | 90 | 33 | ○ | | |
| 9月24日 | 出雲市荒木コミュニティセンター | 90 | 35 | ○ | | |
| 9月30日 | 斐川町出東公民館 | 50 | 30 | ○ | | |
| 11月8日 | 松江市観光ボランティア研修 | 60 | 15 | | | 古墳公園見学 |
| 11月16日 | 雲南市立佐世小学校6年 | 120 | 13 | ○ | ○ | 勾玉作り |
| 11月24日 | 松江市淞北ブロック民生児童委員協議会 | 30 | 50 | ○ | | |
| 計 | | | 290名 | | | |

6. 職場体験

就業体験を行うことで、生徒の勤労への態度を養うとともに、自己の適性について理解を深める。

| 期 間 | 学 校 名 | 内 容 | 人数 |
|-------------|---------------|----------------------------|----|
| 9月14日～18日 | 松江工業高等専門学校 | 内業作業(センター)、発掘調査・遺物整理(山持遺跡) | 2 |
| 9月16日～18日 | 美郷町立大和中学校 | 発掘調査・遺物整理(山持遺跡) | 1 |
| 9月29日～10月1日 | 松江市立湖北中学校 | 内業作業(センター) | 2 |
| 10月26.27日 | 島根県立松江緑が丘養護学校 | 内業作業(センター) | 1 |
| 計 | | | 6名 |

7. 講 師

職員の経験や知識を生かすため、職員を派遣する。

(※平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの)

| 月 日 | 内 容 | 場 所 | 依 頼 者 | 講 師 |
|--------|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|
| 4月11日 | 風土記の丘教室「出雲国府跡の調査について」 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 八雲立つ風土記の丘所長 | 神柱靖彦 |
| 6月20日 | 鳥取県埋蔵文化財職員研修講師 | 鳥取県立図書館 | 鳥取県埋蔵文化財センター所長 | 宮本正保 |
| 7月4日 | 親子活動支援(85名) | 松江市立古志原小学校 | 古志原小学校学級委員 | 川原和人 中川 寧 |
| 7月11日 | 風土記の丘教室「古墳と巡礼路が見つかった鞍切遺跡」 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 八雲立つ風土記の丘所長 | 伊藤徳広 |
| 8月22日 | 荒神谷博物館特別講演会 | 荒神谷博物館 | 荒神谷博物館館長 | 足立克己 |
| 9月5日 | 企画展資料解説会講師 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 八雲立つ風土記の丘所長 | 内田律雄 |
| 10月10日 | 風土記の丘教室「横穴墓の世界-島田池横穴墓群の調査から-」 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 八雲立つ風土記の丘所長 | 原田敏照 |
| 10月25日 | 国府まつり支援 | 出雲国府跡史跡公園 | 八雲立つ風土記の丘所長 | 神柱靖彦 |
| 11月5日 | 総合的な学習の講師(7名) | 松江市古江小学校 | 松江市古江小学校校長 | 中川 寧 |
| 11月8日 | 展示解説 | 益田市立歴史民俗資料館 | 益田市立歴史民俗資料館館長 | 大庭俊次 |
| 12月5日 | 企画展連続講座講師 | 古代出雲歴史博物館 | 古代出雲歴史博物館館長 | 平石 充 |

8. 資料の貸出・調査など

(1) 資料調査（※平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの）

研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

| 資 料 | 点数 | 申 請 者 | 月 日 |
|--------------|-----|----------------|----------------|
| 古曾志大谷1号墳埴輪ほか | 261 | 島根大学学生 | 4月20日～5月1日ほか2回 |
| 西川津遺跡銅鐸 | 1 | 荒神谷博物館学芸員 | 4月28日 |
| 塩津山1号墳土器 | 105 | 大手前大学学生 | 7月2日～7日 |
| 荒神谷遺跡調査時写真 | | 荒神谷博物館学芸員 | 6月24日 |
| 面白谷遺跡玉類ほか | | 広島県立歴史民俗資料館学芸員 | 7月8日 |
| 五反配遺跡木製品ほか | 26 | 個人 | 7月13日 |
| 竹ヶ崎遺跡土器ほか | 25 | 京都大学学生 | 7月24日 |
| 三田谷I遺跡土器ほか | 423 | 出雲市職員 | 9月8日 |
| 日脚遺跡須恵器ほか | 252 | 奈良大学学生 | 9月15日～17日 |
| 西川津遺跡石器ほか | 171 | 広島大学学生 | 11月16日～26日 |
| 山持遺跡木製品 | 3 | 出雲市職員 | 12月2日 |
| 貝谷遺跡土器 | 518 | 奈良文化財研究所職員 | 12月7. 8日 |
| タテチョウ遺跡木製品ほか | 41 | 広島大学学生 | 12月9日 |
| 原田遺跡石器 | 153 | 岡山理科大学学生 | 12月10. 11日 |

(2) 写真資料など（平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの）

単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

| 資 料 名 | 点数 | 貸 出 先 | 使 用 目 的 | 貸 出 期 間 |
|----------------|-----|-------------------|----------|--------------|
| 蔵小路西遺跡出土陶磁器 | 1 | 島根県古代文化センター | 新聞掲載 | 掲載許可 |
| 『たたら街道』特別号 | 1 | 鳥取県埋蔵文化財センター | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡銅剣出土状況ほか | 5 | 株式会社ポブラ社 | 書籍掲載 | 2月12日～3月16日 |
| 夫敷遺跡水田跡ほか | 3 | 東出雲町教育委員会 | 資料掲載 | 2月17日～3月19日 |
| タテチョウ遺跡ほか土笛 | 1 | 佐賀県教育庁 | チラシ掲載 | 2月18日～2月25日 |
| 沖手遺跡青磁ほか | 8 | 益田市教育委員会 | パンフレット掲載 | 2月20日～3月23日 |
| 堀田上遺跡の旧石器ほか | 5 | 郷土出版社 | 書籍掲載 | 3月2日～3月23日 |
| 荒神谷遺跡銅剣ほか | 4 | 有限会社キックオフプラス | 書籍掲載 | 3月5日～3月31日 |
| 北原本郷遺跡ほか土偶ほか | 3 | 株式会社雄山閣 | 書籍掲載 | 3月18日～4月13日 |
| 三田谷I遺跡部戸復原模型 | 1 | 大阪府立弥生文化博物館 | 図録掲載 | 掲載許可 |
| 三田谷I遺跡丸木舟 | 1 | 株式会社ジーニアスエデュケーション | 資料掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡青銅器 | 2 | (株)ブランディット | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡銅鐸ほか | 23 | 荒神谷博物館 | 特別展に使用 | 5月20日～7月20日 |
| 西川津遺跡遺構・遺物 | 4 | 株式会社ジャパン通信情報センター | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 日刀保たたら操業 | 1 | 秋田県埋蔵文化財調査センター | 展示 | 掲載許可 |
| 加茂岩倉遺跡銅鐸 | 1 | 東京法令出版株式会社 | 試験問題に使用 | 6月3日～6月19日 |
| 荒神谷遺跡写真 | 2 | 東京法令出版株式会社 | 教材掲載 | 6月18日～7月21日 |
| 庵寺遺跡 | 3 | 株式会社ジャパン通信情報センター | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡銅剣ほか | 13 | 荒神谷博物館 | 特別展に使用 | 7月7日～7月21日 |
| 荒神谷遺跡銅剣ほか | 41 | 広島県立歴史民俗資料館 | 特別企画展に使用 | 9月20日～12月4日 |
| 中野清水遺跡漆付着土器 | 2 | 株式会社同成社 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 加茂岩倉遺跡銅鐸 | 2 | 荒神谷博物館 | 常設展に使用 | 8月19日～9月20日 |
| 『かんの流れ総集編』掲載遺跡 | 14 | 神戸川史作成協議会 | 書籍掲載 | 9月14日～9月30日 |
| 荒神谷遺跡銅鐸 | 1 | (株)新潮社 | 雑誌掲載 | 8月28日～10月25日 |
| 原田遺跡全景ほか | 3 | 荒神谷博物館 | 企画展に使用 | 8月31日～10月10日 |
| 出雲国府跡 | 600 | 古代出雲歴史博物館 | 企画展に使用 | 9月2日～10月9日 |
| 平所遺跡 | 257 | 古代出雲歴史博物館 | 講演会に使用 | 9月2日～9月15日 |

| 資料名 | 点数 | 貸出先 | 使用目的 | 貸出期間 |
|-----------------|----|-------------------|----------|-----------------------|
| 荒神谷遺跡銅鐸 | 1 | 株式会社タミワオフィス | 雑誌掲載 | 9月7日～11月15日 |
| 史跡出雲国府跡ほか | 30 | 古代出雲歴史博物館 | 企画展に使用 | 9月15日～11月20日 |
| 上野Ⅱ遺跡板状鉄素材 | 1 | 株式会社山川出版社 | 雑誌掲載 | 掲載許可 |
| 上野1号墳鏡 | 1 | 松江市教育委員会 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 西川津遺跡鳥形木製品 | 1 | ㈱講談社出版サービスセンター | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 下山遺跡土偶ほか | 4 | 神戸川史作成協議会 | 書籍掲載 | 10月6日～10月30日 |
| 荒神谷遺跡遺跡・遺物 | 2 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 説明会資料掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡青銅器出土状況 | 1 | 株式会社ユニフォトプレス | ソフトウェア掲載 | 掲載許可 |
| 史跡出雲国府跡出土漆紙文書 | 3 | 古代出雲歴史博物館 | 企画展に使用 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡青銅器ほか | 42 | 岡山県立博物館 | 展示に使用 | 11月16日～ 平成22年2月15日 |
| 荒神谷遺跡銅剣 | 1 | 株式会社帝国書院 | 書籍掲載 | 11月16日～12月15日 |
| 三田谷Ⅰ遺跡丸木舟 | 1 | 株式会社ジーニアスエデュケーション | 教材掲載 | 掲載許可 |
| 布田遺跡木製品ほか | 5 | 個人 | 論文掲載 | 掲載許可 |
| 『かんだの流れ総集編』掲載遺跡 | 11 | 神戸川史作成協議会 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| タテチョウ遺跡出土遺物ほか | 9 | 個人 | 論文掲載 | 掲載許可 |
| 荒神谷遺跡青銅器 | 2 | ㈱ブランドイット | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 『かんだの流れ総集編』掲載遺跡 | 1 | 神戸川史作成協議会 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 正源寺遺跡ほか | 2 | ㈱新泉社 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 加茂岩倉遺跡銅鐸 | 1 | ㈱悠工房 | 書籍掲載 | 掲載許可 |
| 堂ノ上遺跡 | 2 | 大畑建設株式会社 | 社内報掲載 | 掲載許可 |

(3) 資料貸出（平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

| 資料名 | 点数 | 貸出先 | 使用目的 | 貸出期間 |
|---------------------|------|----------------|------------|----------------------|
| 史跡出雲国府跡出土須恵器ほか | 58 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 速報展示 | 3月17日～5月19日 |
| 六重城南遺跡ほか製鉄関連遺物 | 58 | 雲南市教育委員会 | シンポジウムにて展示 | 3月22日 |
| 原田遺跡出土石器ほか | 1561 | 古代出雲歴史博物館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 団原古墳須恵器ほか | 418 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 前立山遺跡出土弥生土器ほか | 233 | 吉賀町水源会館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 重富遺跡、やつおもて古墳群出土遺物ほか | 41 | 旭歴史民俗資料館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 上塩冶横穴墓、三田谷Ⅰ遺跡出土遺物ほか | 46 | 放水路ふれあいセンター | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 西川津遺跡出土鍛造鉄斧ほか | 5 | 荒神谷博物館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 布田遺跡管玉未製品ほか | 43 | 出雲玉作資料館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 今佐屋山遺跡出土鉄滓ほか | 2 | 和鋼博物館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 板屋Ⅲ遺跡出土縄文土器ほか | 21 | 三瓶自然館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 荒神谷遺跡出土土器ほか | 9 | 荒神谷博物館 | 常設展示 | 4月1日～3月31日 |
| 堂床遺跡玉作関連資料 | 80 | 古代出雲歴史博物館 | 常設展示 | 9月4日～3月31日 |
| 青木遺跡出土銅鐸破片ほか | 7 | 荒神谷博物館 | 特別展に展示 | 6月29日～9月9日 |
| 道休畑遺跡出土土器ほか | 86 | 浜田市浜田郷土資料館 | 企画展に展示 | 平成22年1月5日 ～3月20日 |
| 西川津遺跡出土ト骨ほか | 50 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 企画展に展示 | 6月10日～9月20日 |
| 高広遺跡出土双龍環頭大刀 | 1 | 勸元興寺文化財研究所 | 特別展に展示 | 10月10日～11月23日 |
| 面白谷遺跡出土玉類ほか | 122 | 広島県立歴史民俗博物館 | 特別企画展に展示 | 9月18日～12月4日 |
| 島田池遺跡出土玉類ほか | 62 | 奈良国立博物館 | 相互展示 | 9月10日～ 平成22年3月31日 |
| 史跡出雲国府跡出土須恵器ほか | 810 | 古代出雲歴史博物館 | 企画展に展示 | 8月11日～12月22日 |

| 資 料 名 | 点数 | 貸 出 先 | 使 用 目 的 | 貸 出 期 間 |
|-------------------|-----|----------------|---------|----------------------|
| 島田池遺跡出土須恵器ほか | 132 | 八雲立つ風土記の丘展示学習館 | 企画展に展示 | 8月28日～ 平成22年1月12日 |
| 原田遺跡出土石器ほか | 69 | 荒神谷博物館 | 企画展に展示 | 9月17日～12月8日 |
| 姫原西遺跡出土琴板 | 1 | 松江市立鹿島歴史民俗資料館 | 特別展示 | 9月15日～1月20日 |
| 上野Ⅱ遺跡出土鉄器ほか | 138 | 来待ストーン | 企画展に展示 | 10月2日～11月19日 |
| 史跡出雲国府跡出土漆紙文書 | 3 | 古代出雲歴史博物館 | 企画展示 | 11月14日～12月22日 |
| 浜寄地方遺跡出土土師器ほか | 80 | 益田市立歴史民俗資料館 | 企画展に展示 | 10月21日～12月23日 |
| 面白谷遺跡自然河道内出土 碧玉原石 | 3 | 妻木晩田遺跡事務所 | 常設展示 | 寄贈 |

職員の貸出 69件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

| 資 料 名 (点数) | 貸 出 先 | 使 用 目 的 | 貸 出 期 間 |
|------------|-----------------|------------|--------------|
| 火起こし道具(4) | 出雲市窪田コミュニティセンター | 窪田小学校の野外活動 | 5月29日～6月1日 |
| 古代衣装ほか(11) | (財)鉄の歴史村地域振興事業団 | 特別展に展示 | 7月16日～8月25日 |
| 古代衣装(4) | 松江市立古江小学校 | 学習発表会 | 12月1日～12月11日 |
| プロジェクター | 島根考古学会 | 例会にて使用 | 2回(6月・12月) |

(5) 施設利用

| 月 日 | 内 容 | 使 用 者 |
|------------|-------|-----------------------------|
| 4月27日・28日 | X線撮影 | 松江市教育委員会・出雲市文化企画部 |
| 7月25日 | 研修室利用 | 出雲古代史研究会 |
| 7月28日・29日 | X線撮影 | 大田市教育委員会・出雲市文化企画部・津和野町教育委員会 |
| 10月1日 | 赤外線撮影 | 松江市教育委員会 |
| 10月22日・23日 | X線撮影 | 津和野町教育委員会・(財)松江市教育文化振興事業団 |
| 12月3日 | 赤外線撮影 | 雲南市教育委員会 |
| 2月25日 | X線撮影 | 松江市教育委員会・隠岐の島教育委員会・出雲市文化企画部 |

(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

| 2009年 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 1,108 | 1,249 | 1,342 | 1,345 | 1,220 | 1,242 | 1,274 | 1,266 | 1,114 | 1,043 | 12,203 |

Ⅲ 研修・調査指導事業

1. 研究

考古資料から見た地域間交渉調査・テーマ研究（古代文化センター事業）

| 項目 | 細目 | 担当者 |
|-----------|--------------------------------------|---|
| 基礎資料等調査・集 | 武蔵国分寺瓦整理・佐々木資料整理・山本清考古資料整理・出雲地方の祭祀遺跡 | 内田律雄、柳浦俊一、今岡一三、萩 雅人、平石 充、原田敏照、中川 寧、久保田一郎、東山信治 |
| 青銅器調査 | 埋納地調査・同はん・模倣品調査 | 大庭俊次、伊藤 智、東森 晋、伊藤徳広 |
| 墓制調査 | 廟所古墳調査 | 丹羽野裕、大庭俊次、宮本正保、勝部智明、神柱靖彦 |
| テーマ研究 | 古代出雲における多面的交流の研究 | 岩橋孝典 |
| テーマ研究 | 出雲における青銅器文化の特質に関する研究 | 宮澤明久、足立克己 |
| テーマ研究 | 尼子氏の特質と興亡史に関する比較研究 | 廣江耕史 |
| テーマ研究 | 木製品から見る古代の暮らし | 間野大丞、中川 寧 |

2. 埋蔵文化財基礎研修

○基礎講座 平成21年4月20日～4月24日 市町村職員2名 その他の受講者4名

内 容 文化財保護行政の歩みと文化財行政の現状、文化財保護法と事務手続き、発掘調査の計画と作業の安全管理、考古学概説（旧石器時代～室町時代）、遺物実測、文化財写真概論、報告書の作成と遺物の整理方法

○実技講座Ⅰ 平成21年5月11、12日 市町村職員2名

内 容 平板測量

○実技講座Ⅲ 平成22年1月25日～29日 市町村職員1名 その他の受講者4名

内 容 報告書記述と作業の内容、遺構・遺物の整理と分類、遺物の復元と拓本、遺物の実測、版組と図面のトレース、遺物写真の撮影方法、デジタル印刷技術について、図版の組み方と割り付け、遺物・記録の保管方法、報告書と調査成果の活用

3. 埋蔵文化財専門研修

埋蔵文化財担当者全般を対象とした専門的な研修

第1回 平成21年6月11日

「考古資料の指定と保護」 原田昌幸（文化庁美術学芸課主任調査官）

「サルガ鼻洞窟遺跡の整理報告」柳浦俊一（島根県埋蔵文化財調査センター）

第2回 平成21年9月29日

「紀元前後から7世紀までの朝鮮半島系土器について」寺井 誠（大阪歴史博物館）

「津和野町における文化財の保存と活用」中井将胤（津和野町教育委員会）

第3回 平成22年1月22日

「奈良文化財研究所研修 地図情報課程を終えて」

内田律雄（島根県埋蔵文化財調査センター）

第4回 平成22年3月12日

「倉谷西中田遺跡」坂本嘉和（鳥取県埋蔵文化財センター）

「波来浜遺跡」 梅木茂雄（江津市教育委員会）

「郡垣遺跡」 山崎 修（雲南市教育委員会）

「堂ノ上遺跡」 東森 晋（島根県埋蔵文化財調査センター）

「西川津遺跡」 原田敏照（島根県埋蔵文化財調査センター）

「米坂古墳群」 伊藤徳広（島根県埋蔵文化財調査センター）

4. 市町村調査指導（※平成21年2月1日から平成21年12月28日までに申請のあったもの）

| 月 日 | 依 頼 者 | 遺跡名など | 内 容 | 派遣者 |
|-----------|-----------------|----------|-------------------------|---------------|
| 4月10日 | 松江市教育委員会 | 美月横穴墓 | 保存処理の事前調査 | 澤田正明 |
| 4月21日 | 荒神谷博物館 | 八日山1号墳ほか | 蛍光X線分析 | 柴崎晶子 |
| 4月23日 | 松江市教育委員会 | 出雲国府跡 | 現地指導 | 神柱靖彦 |
| 5月26日 | 環境自然部自然環境課 長 | 三瓶小豆原埋没林 | 保存管理の調査 | 澤田正明 |
| 6月15日 | 出雲市長 | 上塩冶築山古墳 | 保存処理の状況確認 | 澤田正明 |
| 7月30日 | 環境自然部自然環境課 長 | 三瓶小豆原埋没林 | 保存検討委員会への出席 | 澤田正明 |
| 7月30日 | 雲南市教育委員会 | 郡垣遺跡 | 旧大原郡家等範囲確認 調査委員会への出席 | 平石 充 |
| 7月31日 | 大田市教育委員会 | 石見銀山遺跡 | 石造物の保存について | 澤田正明・ 柴崎晶子 |
| 10月1日 | 大田市教育委員会 | 石見銀山遺跡 | 蛍光X線分析 | 澤田正明・ 柴崎晶子 |
| 11月19.20日 | 出雲市長 | 矢野遺跡 | 蛍光X線分析 | 柴崎晶子 |
| 11月20日 | 津和野町教育委員会 | 大蔭遺跡 | 蛍光X線分析 | 柴崎晶子 |
| 12月15日 | 出雲市長 | 神門寺付近遺跡 | 遺物取り上げ指導 | 澤田正明 |

IV 会 議 参 加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、研修会に参加した。

○総会 平成21年5月21日 福岡県北九州市 ウェルシティ小倉

○中国・四国・九州ブロック会議 平成21年9月10・11日 沖縄県那覇市 サンパレス球陽館

○研修会 平成21年11月19日 鳥取県鳥取市 白兔会館

V 発掘調査事業

受託事業

平成21年度は11事業39遺跡の発掘調査を行った。事業の内訳は、一般国道485号（第五大橋道路）改築事業や一般国道9号（多伎・朝山道路）建設事業、一般国道9号（益田道路）建設事業などの道路建設に伴うものである。調査地を地域別に見ると、松江市14、出雲市10、大田市7、浜田市6、益田市1、津和野町1となり、松江市域並びに出雲市から大田市及び浜田市から益田市にかけての沿岸部に調査箇所が集まっている。

調査の成果としては、松江市一の谷古墳（一般国道431号（川津バイパス）改築事業）で、古墳時代中期頃の方墳が見つかった。墳頂部には木棺を納めたと考えられる埋葬施設が一箇所確認され、石枕や鉄鏃が出土した。また、同じく松江市の米坂古墳群（一般国道485号（第五大橋道路）改築事業）では、石の基壇で区画された中世墓を発見した。基壇内から多数の一字一石経が出土したほか、瀬戸焼の仏花瓶や備前焼の壺を利用した骨壺が3点納められていたことがわかった。

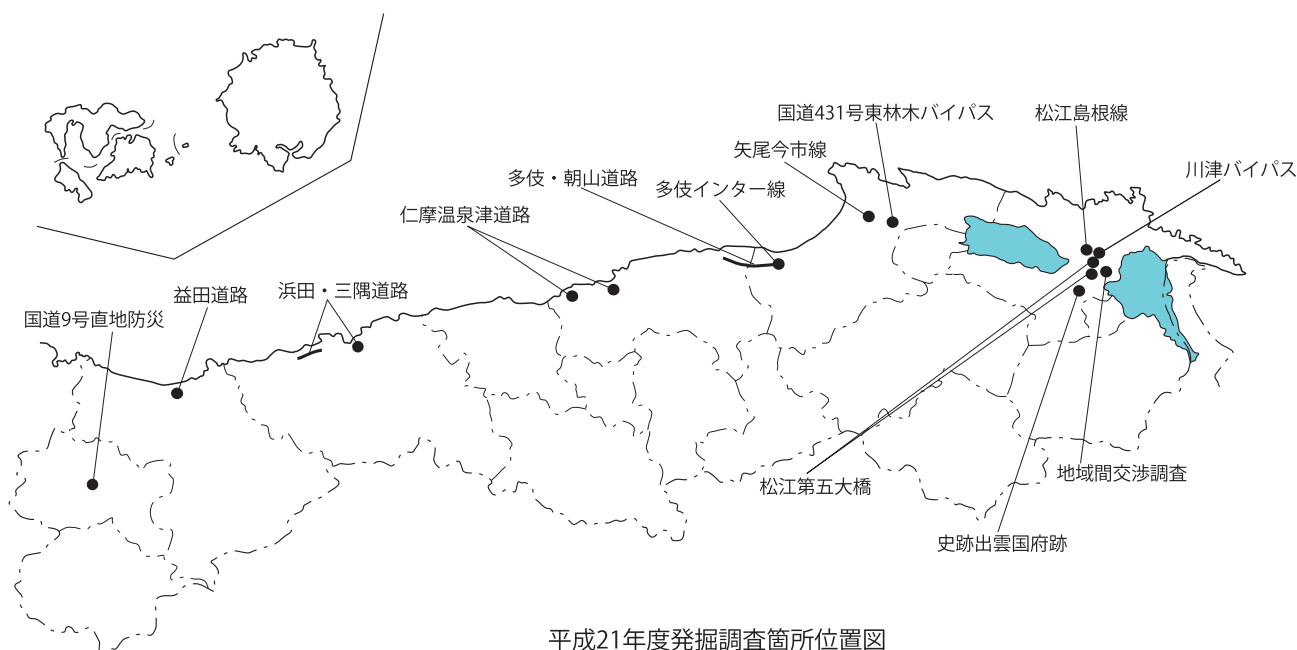
石見部の調査では、平成19年度から調査を行っている益田市堂ノ上遺跡で、弥生時代中期後葉から古墳時代前期にかけての竪穴住居跡が11棟発見されたほか、掘立柱建物跡や7世紀前半頃の横穴式石室の痕跡が残る古墳、近世墓などを検出した。

学術調査

松江市の史跡出雲国府跡（風土記の丘地内遺跡調査）及び廟所古墳（古代文化センター：地域間交渉調査（墓制調査））で発掘調査を実施した。このうち、史跡出雲国府跡では、昨年に引き続き「国司の館」の区画溝と考えられる溝の延長部分や漆紙文書が出土した古代の土坑、古代末から中世頃の井戸などを確認することができた。

分布調査

今年度は、一般国道9号（出雲・湖陵道路）及び一般国道9号（静間・仁摩道路）予定地内の分布調査を実施した。



1. 松江第五大橋道路建設に伴う発掘調査

事業概要 この調査は、島根県土木部から委託を受けて、平成17年度から実施している。今年度は、米坂古墳群と客土遺跡（松江市西尾町）、長池Ⅰ・Ⅱ遺跡、番貫Ⅰ・Ⅱ遺跡など（同市下東川津町）及び貝先遺跡など（同市上東川津町）の発掘調査を行った。

米坂古墳群

本遺跡は、松江市西尾町の丘陵に存在する。以前、松江市教育委員会が農道建設に伴い一部の発掘調査を実施しており、10数基の古墳が発掘されている。丘陵上にはさらに10基以上の古墳状の高まりが見られる。今回の調査対象地は標高約20～35mの丘陵斜面で、約3,500㎡の調査を行った。古墳群は調査範囲外にも広がっており、このうち工事区内の3基を調査した。調査の結果、3基の古墳とも周溝のみが残っていた。そのうち、1基の周溝からは須恵器が出土している。

古墳の周溝以外の遺構には、基壇を伴う中世墓1基、建物跡1棟、土坑墓3基と平坦面が数カ所ある。基壇を伴う墓は斜面中程の傾斜が緩くなった平坦面に造られていた。直径の最大が約50cmの礫を列状に配置し、正方形あるいは長方形となるように区画している。その内側には盛土を施し、上面に直径1～3cmの小石に経文を書く「経石」が敷き詰めている。経石は一字が多く、字は「佛」や「即」等が見られた。他の出土遺物は、盛土内に備前焼の壺が1点と、盛土上面に備前焼と古瀬戸の壺がそれぞれ1点出土した。これらは全て蔵骨器であったと考えられる。古瀬戸の壺は鉄釉の不遊環付き仏花瓶で14世紀初め頃のこの地方では珍しいものである。墓の規模は現存で長軸約6m、短軸約2mであるが、崩落や破壊により本来の規模や形状を復元することはできなかった。蔵骨器であった備前焼の壺の年代から墓の築造は15世紀代と考えられる。他の出土遺物は須恵器、土師器、陶磁器、石製品、金属製品等である。



発掘調査を行った遺跡の位置



米坂古墳群 中世墓



米坂古墳群 蔵骨器

客土遺跡

米坂古墳群がある丘陵の裾部に存在する遺跡で、江戸～近代の遺構や遺物が出土している。遺構は掘立柱建物跡で柱間が2間と3間で、調査範囲外に更に広がっている可能性がある。主な出土遺物は、建物跡より出土した陶磁器や六芒星の墨書礫などである。

長池 I 遺跡

同市下東川津町、高約30mの丘陵上の遺跡で、精査を行ったが調査区の範囲内では遺構は検出できなかった。地山直上で黒曜石製石鏃が一点出土した。

番貫 I 遺跡

同市下東川津町、標高約30mの丘陵上の遺跡で、長池 I 遺跡に隣接する。ほぼ現代の赤道に沿うかたちで、北東から南西へ流れる長さ47mの近世に使用されていた水路を検出した。水路の始まりが湧水地となっており、用水路として使用されたと考えられる。

貝先遺跡

同市下東川津町の上東川津町に接する南向き緩斜面にある遺跡で、中世の建物跡と溝を検出した。このうち調査区の中央に検出した掘立柱建物跡のSB02とSB03は、規模が大きくいずれも東西方向に長い3×1間＝約8.8×4.5m（39.6㎡）ある。先後関係は、SB03を南に約1mずらしてSB02を建替えていることが土層の観察から確認された。この建物跡群から5m南に長さ1.5m、幅0.7m、深さ0.3mの石組み遺構を検出した。床と周囲に被熱した扁平石が敷かれ、内部は粘土や炭で充填されていたので、建物群に関係する竈と考えられる。同様な建物群と竈は平成20年に調査された西川津遺跡D区でも発見されている。

ま と め 米坂古墳群では、15世紀の墓が発見された。礫で区画された基壇を持つ墓で、蔵骨器として貴重な古瀬戸の仏花瓶を用いており、被葬者は地域の有力者と考えてよいのではないだろうか。また貝先遺跡では、中世の建物群とそれに関係すると考えられ石組みの竈が検出されている。当時の生活の様相を考える上で貴重な発見となった。（内田律雄・伊藤徳広）



貝先遺跡 建物跡



貝先遺跡 石組み遺構

2. 松江島根線道路事業に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、県道路建設課より委託を受けて実施しており、平成19年度より開始して以来3年目となる。今年度は松江市西川津町内の古屋敷Ⅱ遺跡と西川津遺跡（鶴場地区：A-1区）の2箇所について、調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を実施した。



古屋敷Ⅱ遺跡

遺跡は、朝酌川の東側に所在する丘陵南側斜面に存在する。調査区の東側については、平成18年度に同事業で松江市教育委員会により調査が既に実施されている。現地調査は平成21年5月21日～8月27日まで実施し、調査面積は500㎡である。

遺構の概要 標高16m～26mの南側緩斜面で平安時代の加工段4基、土抗等を検出した。そのうち加工段2からは1間×2間の掘立柱建物跡を検出した。

遺物の概要 加工段周辺から平安時代（9世紀代）の須恵器・土師器・製塩土器が出土している。

まとめ 検出した遺構は平安時代の集落の一部と推定される。この時期の集落跡は朝酌川周辺部ではこれまで確認されていないことから新たな貴重な発見となった。

西川津遺跡（鶴場地区：A-1区）

遺跡は朝酌川流域に広がる縄文時代～近世までの大規模なもので、これまでに河川改修によって数次にわたる調査が行われ、大量の出土遺物と共に重要な発見が得られている。本年度は朝酌川の西側の宅地跡について平成21年11月24日～平成22年2月16日まで実施した。調査面積は300㎡である。

遺構の概要 現地地表下1.5m、標高2m付近で幅1.8～2.5m・深さ1.2m程の大型の溝を4条、土抗1基等を検出している。大型の溝は弥生時代前期のものが3条、後期のものが1条確認されている。

遺物の概要 溝の埋土を中心に弥生前期と弥生後期の土器が大量に出土している。その他にガラス製勾玉、石器（石包丁・打製石斧・石鏃・打製石剣）、木製品（壺形容器・板材）等が出土している。

まとめ 検出した溝は、集落を区画した環濠の可能性も考えられる。今回の調査成果は、これまでの調査で想定されていた大規模な集落の様相の一端が明らかとなるもので重要である。

（原田敏照）



古屋敷Ⅱ遺跡 加工段2（掘立柱建物跡）



西川津遺跡 弥生時代の溝

3. 国道431号道路改築事業(川津バイパス)に伴う発掘調査

調査概要 この調査は島根県土木部から委託を受けて実施した。今年度は、松江市下東川津町に所在する一の谷古墳の調査を行った。調査期間は、5月20日から10月30日、調査面積は、1,200㎡、調査員1名、調査補助員2名の体制で実施した。

遺構の概要 今回の調査では、古墳1基の他、溝状遺構2条、ピット5基などが検出された。

古墳は、標高26mの丘陵先端に位置し、同じ丘陵の南西側頂部には、平成19年度に調査された苧捨古墳が位置していた。調査の結果、一の谷古墳は、南北17m、東西19m、

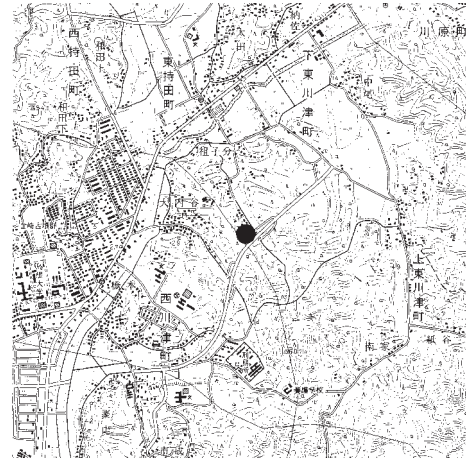
墳裾からの高さ2mの不整形な方墳であることが確認された。対角線の一本はおおよそ東西方向を指しており、また墳裾は地山を削り出し、墳頂には盛土を施し築造されている。葺石、埴輪などの外表施設は確認されなかった。墳頂部には、墳丘に対して主軸がやや斜行する墓壇が1基確認され、規模は長さ3.5m、幅80cm、深さ50cmであった。墓壇には、組合式木棺が納められていたと考えられ、被覆粘土、棺床粘土が確認された。棺内から直径約15cmの自然石による枕石2個が出土し、棺の横から、鉄鏃が14本出土した。

古墳の西側斜面で検出された溝状遺構からは弥生時代後期中葉頃の土器が出土した。

遺物の概要 鉄鏃は古墳時代中期後半の長頸鏃と考えられ、茎部分には矢柄や鏃と矢柄を接合するための部材が残存していた。また古墳の西側斜面表土部分から、初期須恵器もしくは出雲1期頃と考えられる須恵器のはそうが出土した。その他、弥生土器、古代の須恵器、敲き石などが出土した。

まとめ 一の谷古墳は、出土した鉄鏃などから5世紀後半の築造と推定される。朝酌川流域では墳丘規模から中規模クラス古墳と考えられるが、副葬品は鉄鏃のみであり被葬者の性格など検討が必要と考えられる。

(伊藤 智)



一の谷古墳位置図 (松江)



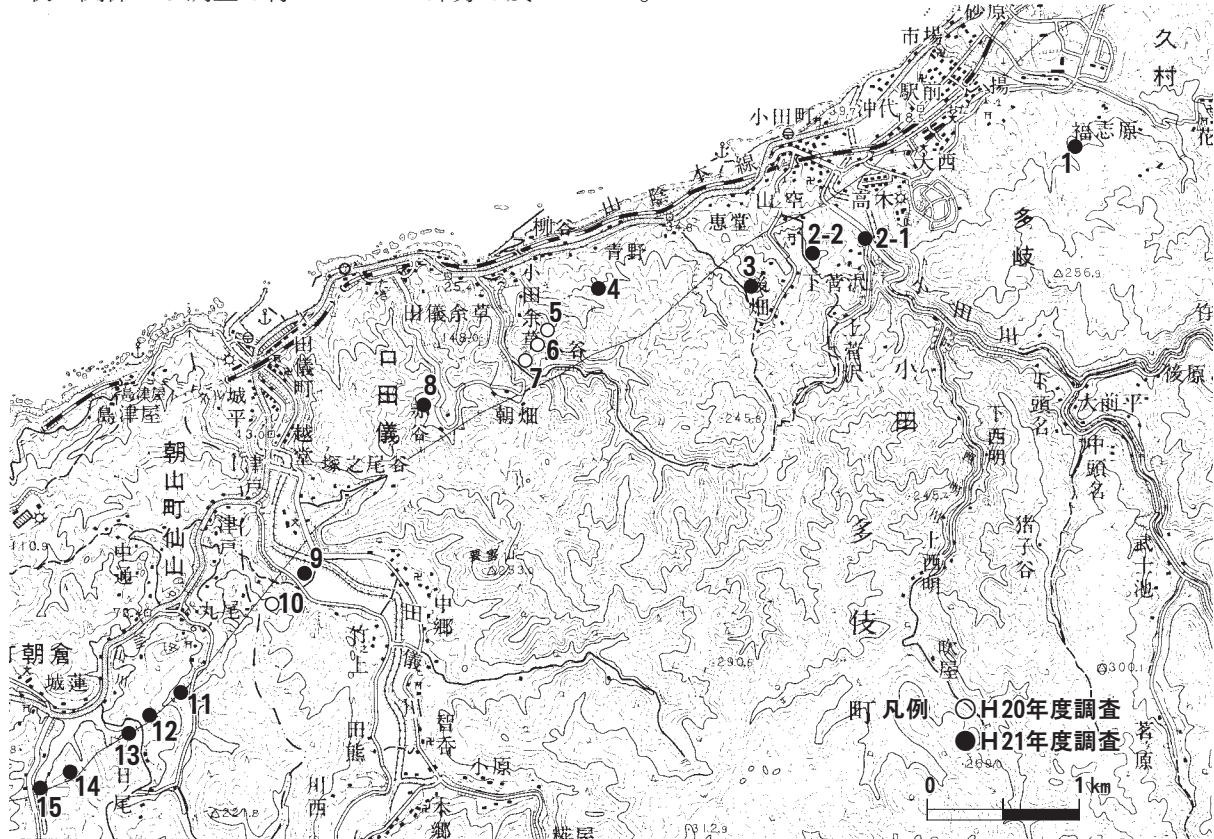
一の谷古墳 (南西から)



鉄鏃及び枕石出土状況 (東から)

4. 多伎朝山道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は国土交通省の委託を受け、平成20年度の2月より実施している。昨年度は平成21年2月16日～3月11日にかけて4遺跡の現地調査を実施・完了し、今年度は4月20日から12月16日にかけて10遺跡の調査を実施、9遺跡の現地調査を完了した。上谷遺跡については、用地買収の関係から調査を行っていない部分を残している。



- | | | | | | |
|-----------|------------|------------|---------|---------|-----------|
| 1 滝が谷遺跡 | 2-1 菅沢遺跡A区 | 2-2 菅沢遺跡B区 | 3 後畑遺跡 | 4 青野遺跡 | 5 戸井ヶ廻Ⅰ遺跡 |
| 6 戸井ヶ廻Ⅱ遺跡 | 7 戸井ヶ廻Ⅲ遺跡 | 8 赤谷遺跡 | 9 川立遺跡 | 10 丸尾城跡 | 11 丸尾Ⅱ遺跡 |
| 12 朝倉古墳 | 13 朝倉遺跡 | 14 東城蓮城跡 | 15 上谷遺跡 | | |

菅沢遺跡

菅沢遺跡は出雲市多伎町小田の小田川左岸丘陵地に存在する。遺跡の範囲は広く、小田川寄りの部分をA区、丘陵頂上付近をB区として6月1日から12月16日にかけて発掘調査を実施した。調査体制は調査員2名・調査補助員1名である。

A 区 県道佐田・小田停車場線脇に位置し、調査面積約180㎡。表土ならびに現在の耕地圃場整備土を取り除くと、等高線にはぼ並行する蛇行した溝が検出された。近世の棚田状水田に関わるものと想定される。その下層には小さな谷状地形が埋没しており、地山粘土層直上の黒色土からは古墳時代の土師器・平安時代の須恵器が、その上層粘質土からは備前焼などが出土、土坑状の施設7基、流路跡が検出された。

B 区 標高100m前後の丘陵頂部に位置する。調査面積は約580㎡。調査区北辺に里道があり、幅広の谷状地形の存在するため、道路遺跡の可能性も考慮して調査を実施した。西側（B1区）では現代の廃棄物層の下に検出部分で幅1～1.5mのやや蛇行した道路を確認した。近世以降のものと考えられる。東側（B2区）は谷状地形を呈し、上方の地山黄褐色土が流入二次堆積していた。さらに東側では流出土の下に旧表土と考えられる黒色土の堆積が3層確認され、縄文後期～弥生前期の遺物が出土、加工段1箇所とピット若干を検出した。（間野大丞・平石 充）

5. 一般国道9号(仁摩温泉津道路)改築に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査の概要 この調査は、国土交通省松江国道事務所から委託を受けて行ったもので、平成17年度から実施している。今年度は、大田市温泉津町湯里の湯里天神遺跡で下り本線・湯里高架橋橋脚予定地250㎡について本調査を行った。現地調査期間は5月28日～8月28日、調査員2名・調査補助員1名の体制で実施した。また、9月1日～3日に同市仁摩町馬路の宇福遺跡で下り本線馬路第1高架橋橋脚予定地と市道拡幅部分についてトレンチ調査を実施した。

報告書作成は平成19～20年度に現地調査を実施した梨ノ木坂遺跡、庵寺遺跡を対象とした。



調査対象遺跡位置図 (1/50,000 温泉津)

(1) 湯里天神遺跡

遺構の概要 湯里天神遺跡は湯里川に沿った標高15m前後の谷平野に所在し、調査前は棚田として利用されていた。当遺跡では、畑関連遺構が6面にわたって検出された。このうち、第1・4・5・6面では牛を使った起耕による犁(すき)痕跡と見られる小溝群が検出され、牛と考えられる偶蹄目動物の足跡も第3・5・6面で検出された。また、第2面・第6面では石垣状の積み石を構築して土地の高低差を克服し、区画がなされている状況が確認できた。

遺物の概要 耕作地として利用された土地であるため、土器・陶磁器類はいずれも細片化していたが、900点余りを取り上げることが出来た。遺物の大半は土師器の杯・皿であるが、備前焼などの国産陶器や象嵌青磁、粉青沙器(刷毛目)、青磁、白磁などの朝鮮半島・中国産の陶磁器も見られた。遺物は、弥生土器や古代の須恵器も散見されるが、大半は15世紀前半～16世紀前半のものである。

まとめ 現在、当地では普遍的に見られる石垣を伴う棚田・段々畑という農地景観が15世紀には成立していたことが確認されたほか、犁を用いた牛耕の様子を示す資料を追加することができた。

(2) 宇福遺跡

遺構・遺物の概要 宇福遺跡では、市道拡幅部分に1・2トレンチ(4m×0.6m)を設定して調査を行った。両トレンチとも地表から20～40cm程度の深さで岩盤に達し、遺構遺物は見られなかった。しかし、用地境界より東側の丘陵頂部では、須恵器の破片が散乱しているのが確認され、丘陵東側斜面には大型の石材も露出しているため、横穴式石室を内蔵した後期古墳の存在が推測される。

本線橋脚部分予定地に設定した3-1トレンチ(2.5m×1.5m)、3-2トレンチ(2.5m×2m)では遺構・遺物とも確認されなかった。

(岩橋孝典)



湯里天神遺跡の第6遺構面石垣と牛の足跡

6. 国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う発掘調査

調査概要 この調査は県土木部から依頼を受けて平成12年度から実施しており、今年度で10年目となる。今年度は山持遺跡の6区⑦と7区⑤の2か所を調査対象とした。6区⑦は7月13日から10月16日まで、調査面積は1,200㎡、7区⑤は5月26日から11月25日まで、調査面積は2,680㎡で、それぞれ調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を実施した。



山持遺跡位置図 (1:50,000 今市)

山持遺跡

本遺跡は出雲市里方町・西林木町・日下町に所在する水田部分に広がっており、今回の調査区である6区⑦は伊努谷川の東側、7区⑤は鍛冶屋谷川の西側に位置している。

6区⑦では表土下約1.2mまで多条の旧河道が東西方向に流れていることから、他の調査区で確認されているような中世の腐植土層(オモカス層)はほとんど確認できなかった。この河道の下には弥生時代後期～古墳時代前期の遺物包含層が存在し、その下層のシルト系堆積層の調査では包含層と同時期の遺構を検出した。このシルト系堆積層の下層は弥生時代中期の土器を含む砂礫層となっているが、湧水が著しく調査は一部しか行えなかった。シルト系堆積層で検出した遺構には土器溜まりや溝、土坑、ピット等がある。土器溜まりは10か所検出したが土坑等の存在については確認することができなかった。このうち土器溜まり1は甕、高坏、器台で構成され、ほぼ完形の土器がまとまって廃棄されたような状況である。

7区⑤では、オモカス層の下層に古墳時代中期の遺物を含む黒色粘質土層があり、さらにその下のシルト系堆積層上面で2本の流路跡と土坑、溝、ピット等が検出された。流路跡1は幅4.2m、深さ0.5mで、調査区東側を南北方向にのびている。流路跡2は調査区西側から中央部へ向かい、そこから南に屈折している。幅は最大で23.5m、深さは0.5mで、西側には中洲状の高まりが存在する。流路跡1・2では古墳時代中期の土器が出土しており、さらに流路跡2では管玉とガラス小玉が1点ずつ発見された。シルト系堆積層中では、弥生時代後期後葉の土器溜まりが検出されたほか、三稜式木鏃が1点出土している。なお、流路跡2でも三稜式木鏃が2点出土しているが、これらも本来はシルト系堆積層中に含まれていたと考えられる。(今岡一三・東山信治)



6区⑦土器溜まり1



7区⑤流路跡2西側

7. 矢尾今市線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は県土木部から依頼を受けて実施したもので、今年度が初年度となる。調査対象遺跡は高浜 I 遺跡で10月19日から12月16日まで調査員 1 名、調査補助員 2 名の体制で調査を行った。調査面積は約 800㎡である。

高浜 I 遺跡

高浜 I 遺跡は出雲市高岡町に所在し、市道高浜141号線と広域農道の接する T 字路から北へ約60mの地点に位置する水田が今回の調査区である。この水田の耕作土下約30cmで遺構面に至り、調査区中央から南側に柱穴300穴以上、土抗及び井戸跡と溝状遺構が集中して検出された。柱穴は径30cm前後のものが大半を占めるが、中には長軸 1 m 以上の規模を測るものが十数穴存在していた。この大規模な柱穴は建物跡としての並びも確認でき、現状では 3 間× 1 間の建物のように見えるが、梁行が約 5 m と長くなるため特殊な建物跡の可能性も推測できる。

遺物は須恵器、土師質土器、陶磁器類、鉄製品、木製品等が出土した。時期的には 8 世紀～15 世紀のものが混在しているが、出土量的には15世紀前後のものが中心を占めており、当遺跡はこの時期の集落跡と考えられる。
(今岡一三)



高浜 I 遺跡位置図



完掘状況

8. 一般県道多伎インター線事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は県土木部から依頼を受けて実施したもので、今年度は砂原車廻古墳群の調査を 5 月 18 日から 6 月 29 日まで調査員 1 名、調査補助員 2 名の体制で行った。また、インター線建設予定地近くの砂原遺跡から前期旧石器時代の石器が発見されたため、10月13日から11月7日まで調査員 1 名、調査補助員 1 名の体制で砂原 I 遺跡の調査を実施した。調査対象面積は砂原車廻古墳群約800㎡、砂原 I 遺跡約65㎡である。



遺跡位置図

(1) 砂原車廻古墳群

遺跡は多伎工業団地の西側に位置する標高約55mの丘陵尾根上に位置し、北側には日本海が広がる眺望の優れた場所である。調査の結果、明確な古墳は確認できなかったが区画溝と加工段、ピット群を検出した。古墳は楕円形状で径約15m前後、高さ約 1 m の円墳と考えられたが、表土下約10～20cmで地山面に至り、盛土の痕跡や埋葬施設、周溝等の古墳に関する遺構は確認できなかった。このことから判断すると古墳の可能性は低いものと考えられる。しかし墳丘の南側尾根上には墳丘

と尾根を区画するかのように東西方向にのびる区画溝（SD01）が存在し、墳丘西側裾部で須恵器甕片数点と東裾部で刀子1点が出土していることから、古墳もしくは横穴墓の後背墳丘であった可能性も推測される。SD01は墳丘頂部から約10m南側に位置し、尾根を南北に区画するように東西方向にのびる溝である。長さ6.7m、幅は最大で1.8m、深さ25cmを測り、内部から遺物は出土しなかった。加工段はSD01の東端で検出したが、東側は急斜面になっていることから大部分は流失していた。残存する西側の平面形は「コ」の字状を呈していることから方形の加工段であったと考えられ、現状の規模は南北4.6m、東西1.8m、壁高25cmを測る。床面では柱穴5穴を検出したが、溝や焼土等は確認できなかった。（今岡一三）

(2) 砂原 I 遺跡

砂原 I 遺跡は、出雲市多伎町多岐砂原107-1外の標高約22mを測る平坦地に位置する。近年までイチジク畑であったが、かつては隣接する市道と同じ高さのところから海岸に向かって4枚にわたって棚田が形成されていたことが聞き取りなどから分かっている。平成20年度の調査により、須恵器片・中世陶器片のほか、石器製作時に生じる剥片等が確認されていたが、その際は明確な遺構は検出されていない。

今回の調査対象面積は65㎡で、旧石器時代の遺跡を明らかにするため、6×5mの調査区を2か所、5×1mの調査区を1か所設定し、いわゆる地山とされる地層の掘り下げを行った。

1・2区ともに出土物・堆積状況を確認しながら面的に水成堆積層まで掘り下げた。3区では基盤層と考えられる礫層まで掘り下げを行った。

調査の結果、ローリングにより丸みを帯びた玉髓・瑪瑙、流紋岩などは出土したが、加工の施された石器や剥片・チップは確認できなかった。なお、3か所の調査区すべてで2枚の火山灰層を検出することができた。遺跡の立地、周辺地域の古環境、火山灰の年代等を明らかにすることを目的とした同定分析用のサンプリングを行った。

当遺跡の西方約200mの海成段丘上には砂原遺跡が在り、同志社大学による発掘調査等によって火山灰層2枚と玉髓や流紋岩質の石片が20点ほど確認されている。石片の年代は同大学の発表によると、上位に堆積した火山灰層の推定年代から約11~12万年前とされているが、正式な報告はまだされていない。

ま と め 本遺跡の調査では、旧石器時代の遺構・遺物を確認することはできなかったが、上記遺跡から出土した石片と同じ石材がこの付近に分布していることが明らかになったことは一定の成果といえる。また、採取した火山灰の同定分析によって降下火山灰の特定と堆積年代が今後明らかになれば、本遺跡や砂原遺跡も含め、周辺域における旧石器時代の実態を知る上で重要な基礎資料となる。（勝部智明）



砂原車廻古墳群完掘状況



砂原 I 遺跡 2 区完掘状況

9. 益田道路建設に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省浜田河川国道事務所より委託を受けて実施しており、平成13年度より実施して以来9年目となる。今年度は、堂ノ上遺跡（本調査3年目）の調査を行った。

堂ノ上遺跡

本遺跡は益田市久城町に所在し、益田川に近い標高約33mの丘陵上に位置する。平成19・20年度に県道久城インター線建設に伴って発掘調査が実施され、弥生時代後期の集落跡が確認された。今年度はその丘陵の南側部分を調査対象とした。現地調査期間は平成21年6月23日～12月18日、調査面積は4,100㎡で、調査員2名、調査補助員1名の体制で発掘調査を実施した。



益田市 堂ノ上遺跡の位置

遺構の概要 竪穴住居跡11棟、古墳1基、掘立柱建物跡8棟、布掘り建物跡1棟、建物の柱穴と考えられるピット群、自然流路3箇所、近世～近代の墓30基以上などの遺構が検出された。

竪穴住居跡と布掘り建物跡、掘立柱建物跡の大部分は、弥生時代中期後葉～古墳時代前期のもので、約600基検出されたその他の柱穴も、大部分が同時期の遺構と考えられる。竪穴住居跡は、弥生時代中期後葉～後期後葉にかけては床面が円形または楕円形で、弥生時代後期末～古墳時代前期は隅丸方形または方形である。このうち、S I 1 6の床面は最大で直径9.2mあり、3回以上の建て替えが確認された。また、検出された11棟のうち、6棟は床・柱・溝内に炭や焼土が堆積しており、S I 1 3では特に炭化材が多く検出された。竪穴住居群と同時期と判断した掘立柱建物跡は6棟で、うち1間×2間の4棟は倉庫跡と考えられる。布掘り建物跡は長さ5m、幅40cmの溝の中に約1.5mの間隔で柱を据えており、柱の周辺は一段深く掘り下げられていた。

古墳は径約10mの円墳で、墳丘は後世の開墾によって削平されていた。主体部は横穴式石室で南西方向に開口しており、石材は全て抜き取られていた。石の抜き取り痕跡から、石室の床面規模は4m以上×1.4mと考えられる。古墳の北側で幅1～1.5mの周溝が検出された。出土遺物から7世紀前半に築造されたと考えられる。

遺物の概要 竪穴住居跡を中心に弥生土器や石器、鉄器が出土している。S I 1 3では弥生時代後期前葉の壺・甕が、住居焼失後に北・西・南の壁際に置かれた状態で出土し、S I 1 5では弥生中期後葉の甕が、支柱穴内に置かれた状態で出土した。また、S I 1 4の床面や壁帯溝から、山陰系や布留系の甕とともに周防系の甕や高坏がまとまって出土している。

古墳からは須恵器の坏蓋3点、坏身6点、壺1点、耳環2点、刀子1点が出土している。

まとめ 平成19年度からの調査で検出した、弥生時代中期後葉から古墳時代前期の竪穴住居跡は合計16棟となり、約300年間にわたる様々な形態の建物跡や遺物が見つかった。また、住居群や出土遺物に山口県の遺跡との共通点が見られるなど、県西部の当時の集落を考える好例となった。

(東森 晋)



S I 1 6



S I 1 3 (炭化材検出状況)

10. 浜田・三隅道路建設に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省浜田河川国道事務所より委託を受けて実施しており、平成18年度より実施して以来4年目となる。今年度は、片良ヶ平遺跡の本発掘調査と、寺ヶ嶺遺跡、堤ヶ嶺遺跡、新井Ⅰ遺跡、新井Ⅱ遺跡、平岩遺跡のトレンチ調査を行った。

片良ヶ平遺跡

本遺跡は浜田市原井町・熱田町に所在し、浜田湾を見下ろす標高約90mの丘陵上に位置する。今年度は、丘陵尾根部分と東側の緩斜面を調査対象とした。現地調査期間は平成21年4月15日～5月8日、11月16日～12月16日、調査面積は合計222㎡で、調査員2名、調査補助員1名の体制で発掘調査を実施した。丘陵尾根上に設定した1区の調査区東側で、地山とよく似た4層（明褐色土）から拳大の石を用いた集石遺構を検出した。遺物は2層（耕作土）、3層（黒褐色粘質土）、4層で合計約300点の黒曜石及び安山岩等の石器や剥片が出土したほか、縄文土器が数点出土した。縄文土器は小片で詳しい時期は不明である。

(東森 晋)



浜田市 片良ヶ平遺跡の位置



調査区全景

11. 学術調査等

(1) 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成11年度から実施している。11年目となる今年度は、史跡公園として整備されている宮の後地区のなかでもっとも北側の未調査部分などを対象とした。

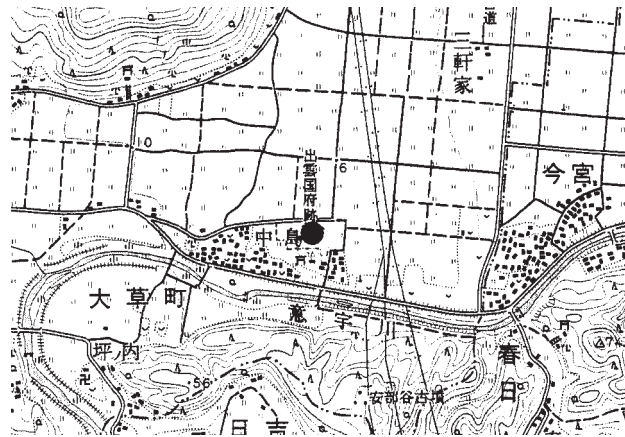
現地調査は6月8日から11月31日、調査面積は約500㎡、調査員1名、調査補助員1名の体制で実施した。

遺構の概要 本調査区では整地土の上面で奈良時代から平安時代にかけての溝跡、井戸跡、土坑などを検出した。トレンチ調査では再計

測を行うために昭和の調査で検出している柱穴などを再検出したほか、あらたに土坑を確認した。本調査区では過去の調査で検出していた70号溝の延長部分を検出した。70号溝は調査区の西端付近で南に枝分かかれし、12mほど東西方向に伸び東端部はクランク状に屈曲している。幅は1.4m～60cmで、深さは約10～20cmとごく浅い。また、SD002の延長部分の検出を行った。検出長は18m、幅は2.2～3m、深さは約40cmである。13号井戸は、平面形は幅約1mの正方形を呈し、井戸枠は板材を四隅の柱材と横棧木でささえる構造であった。使用されている材はスギ材であった。SK01は廃棄土坑と考えられ、土器片のほか獣骨、漆紙文書等が出土した。

遺物の概要 出土遺物は古代の土器・瓦類が大半を占める。注目すべき遺物に漆紙文書がある。3点以上が出土し、年号「延暦」人名「麻呂」などの文字が確認されている。これらのうち、1号および2号文書は、戸籍をもとに行った作業を記録した文書の可能性がある。また、3号文書は、書簡風の文書の一部と考えられる。

まとめ 本調査対象地は、「国司館」の一角と推定されている。平成19年度からの調査により、徐々に「国司館」敷地南限付近の様相が明らかになってきている。今回の調査では、建物跡の可能性のある遺構の一部が調査区北端部で検出されている。今後の調査で、さらに周辺部分の遺構の様相明らかにし、「国司館」の施設配置や変遷を検討していく必要がある。(神柱靖彦)



遺跡位置図



SD002



1号漆紙文書 (反転画像)

(2) 地域間交渉調査（墓制調査事業）

経緯等 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している基礎研究「考古資料から見た地域間交渉調査」の墓制調査の一環として実施した。

廟所古墳の発掘調査

宍道湖から中海へ松江市内東部を流れる一級河川斐伊川水系大橋川北岸の松江市内西尾町に位置する廟所古墳は、五世紀前葉から中葉の県内最大級（南北約68m東西約64m）の二段築成の方墳とされ、平成10年に詳細測量調査を行い報告書を刊行している（『松江市内東部における古墳の調査』2004.3）が、古墳の構造や規模、築造時期については依然不明な点が残っている。最大の課題としては、墳丘の下段の有無の問題があるため、墳丘形状と規模を確定する必要があるため、発掘調査は3年程度を費やして実施する予定とし、今年度はその2年目となる。

前年度は、墳丘東側斜面に続く従来造出部とされてきた台状地形の一部でトレンチ調査を行ったが、溝状地形から埴輪片が多数出土したものの、造出部の確定には至らなかった。

そこで、今年度は、同じ墳丘東側斜面の墳端と造出部にかけて3本のトレンチを設定して11月下旬から1月下旬にかけて発掘調査を実施した。その結果、標高28.5m以下の東側斜面の墳端部分が溝掘りや後世の掘削、削平によって改変されており、その部分については、葺石や埴輪、土器等の遺物が出土しないことがわかった。また、墳丘斜面で検出した葺石は一定の傾斜を保ったまま墳頂に向けて続いており、これより上での段築はない可能性が高い。また、従来造出部とされてきた東側の台状地形は削平が著しく、今年度は葺石や遺物がほとんど出土しておらず、墳丘を造成した際の残丘である可能性が出てきた。これらのことから、従来考えられていたよりも墳丘規模が縮小され、墳丘形状も俯瞰長方形になる可能性が考えられる。なお、葺石が検出された部分からは、円筒埴輪や家形埴輪、器財埴輪などの形象埴輪のかけらが多数出土した。この中には線刻のあるものがあり蓋、盾、家形などのかけらと思われる。廟所古墳と同じ中期古墳とされる石屋古墳や井ノ奥古墳群の出土遺物との比較が廟所古墳の時期を詳細に確定させるのに有効と思われる。

次年度以降は残る3方向の斜面を調査して、墳丘の構造や規模についての確定的な情報を得ることが期待される。

(大庭俊次)



墳端付近の葺石と転落石



廟所古墳の位置 (S = 1/25,000)

(3) 保存処理

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水浸けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めており、H21年度も例年通り、既刊報告書分の遺物と作成中の報告書掲載遺物を処理した。

水浸け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理で保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影に関しては、センターの調査現場、報告書作成、保存処理での活用の他に、市町村教育委員会を対象に撮影日を設けている。

平成21年度 作業実績

木製品は、青木遺跡の柱根、山持遺跡の刳物、杭、出雲インター線の農耕具などに糖アルコールを含浸した。柱根は古代出雲歴史博物館企画展に向けた処理で、自立させる台も合わせて作成した。金属製品は主に鉄穴内遺跡や上塩冶横穴墓群などの遺物に対しての再処理を行った。保存処理後の遺物経年変化を日常的に点検することができていないため、資料調査や貸出時に開梱して、金属製品に錆汁が出ていることに気付く。木製品において再処理を要する遺物は見受けられなかったが、今後もそれぞれの遺物の状態に注意を払わなければならない。

その他の遺物では、昨年度庵寺遺跡1号墳石棺内から切り取り持ち帰った、頭部痕跡とその周辺の土壌を精査したところ、上下の歯列を検出したが科学分析には適さないほどに劣化していたため、樹脂で強化し形状の維持に努めた。出雲国府跡で発見された漆紙文書は多数の破片に割れた状態だったので、FRP型を作り取り上げた。この資料は複数枚重なった破片を分離後に強化、裏打ちをして復元した。

県内市町村からの要請に対応していく一環として、昨年度から引き続き出雲市佐田町横見埋没林のPEG含浸を行なっている。
(澤田正明・柴崎晶子)

(4) 分布調査

一般国道9号静間仁摩道路のうち、静間I.C（仮称）－仁摩I.C（仮称）間、同出雲湖陵道路のうち出雲I.C－湖陵I.C（仮称）について、事業対象地、建設工法がほぼ確定し、現地のセンター杭設置がおおむね完了したことから、大田市教育委員会・出雲市教育委員会の協力を得て、平成22年2～3月に分布調査を実施した。
(中川 寧)

Ⅵ 県内発掘調査一覧

市町村など（※平成21年12月28日までに通知のあったもの）

| 番号 | 対 象 遺 跡 | | | 発 掘 届 出 書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|-----------------------|--|---|-------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|
| | 種 別 | 名 称 | 所 在 地 | 発 掘 担 当 者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定 期 間 | |
| 1 | 集落跡 | 石流遺跡 | 松江市法吉町371-6、 372-3,898-2 | 松江市教育委員会 江川幸子 | 470 | 210406－ 210630 | ガス・水道・ 電気 |
| 2 | その他の 遺跡 | 松江城下町 遺跡(米子 町55)、(米 子町54-3他)、 (米子町55- 5番地外) | 松江市米子町55番地、 54-3、53-3、52-11、52- 10、52-8、51-10、51-2、 51、50、55-1番地の一部、 55-2番地の一部、 55-3番地の一部、55- 4番地の一部、55-5番 地の一部、55-6番地 | 松江市教育委員会 柚原恒平 | 48 | 210406－ 210522 | 道路 |
| 3 | 集落跡 | 高田遺跡 | 鹿足郡津和野町高峯 519番3他 | 津和野町教育委員会 中井将胤 | 4 | 210406－ 210430 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 4 | その他の 遺跡 | 津和野城下 町遺跡 | 鹿足郡津和野町森村 ハ11-15 | 津和野町教育委員会 中井将胤 | 4 | 210416－ 210430 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 5 | 集落跡 | 石見銀山遺 跡 | 大田市大森町上市場 ニ73番1 | 大田市教育委員会 長嶺康典 | 22.4 | 210420－ 210430 | 個人住宅 |
| 6 | 城館跡 | 池平山城跡 | 松江市鹿島町佐陀本 郷2907-3、2905-3、29 03-11、2903-13、2905- 1、2903-10 | 松江市教育委員会 廣濱貴子 | 572 | 210515－ 210731 | 道路 |
| 7 | 集落跡 | 小無田遺跡 | 松江市山代町302-1、 302-3 | 松江市教育委員会 赤澤秀則 | 20 | 210520－ 210522 | 個人住宅 |
| 8 | 集落跡 | 中須東原遺 跡 | 益田市中須町116,87, 139,442,120,127-1,11 5,118,124,131,446,12 1,126 | 益田市教育委員会 長澤和幸 | 60 | 210603－ 210619 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 9 | 散布地・ 官衙跡 | 郡垣遺跡 | 雲南市大東町仁和寺 1706-7外 | 雲南市教育委員会 山崎 修 | 294.16 | 210610－ 9月末日 | 道路 |
| 10 | その他の 遺跡(城 下町遺跡) | 松江城下町 遺跡(母衣 町40番地外) | 松江市母衣町40番地、 殿町345番地 | 松江市教育委員会 石井 悠 | 34.5 | 210601－ 210630 | 道路(城山 北公園線) |
| 11 | 社寺跡 | 石見国分寺 跡 | 浜田市国分町1528-2、 1534-2 | 浜田市教育委員会 榊原博英 | 7.8 | 210622－ 210715 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 12 | 散布地 | 奥谷遺跡 | 出雲市大社町杵築東 195 | 出雲市 曾田辰雄 | 180 | 210619－ 220331 | その他開発 (防災施設 整備) |
| 13 | 散布地 | 余勢野原遺 跡 | 邑智郡邑南町中野 910番地 外70筆 | 邑南町教育委員会 角矢永嗣 | 2000 | 210701－ 211031 | 農業基盤整 備事業 |

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|------|-----------------------|-----------------------------|---|-------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 14 | 古墳 | 山の平山頂古墳 | 益田市乙吉町イ397番1 | 益田市教育委員会 長澤和幸 | 5 | 210626 - 210629 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 15 | 集落跡 | 中須東原遺跡 | 益田市中須町70、71、 94、105、113、135 | 益田市教育委員会 長澤和幸 | 350 | 210706 - 210930 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 16 | その他の 遺跡(城 下町遺跡) | 松江城下町 遺跡(殿町1 91番地13外) | 松江市殿町191番地1 3、191番地14 | 松江市教育委員会 柚原恒平 | 332.5 | 210708 - 211215 | 道路(城山 北公園線) |
| 17 | 社寺跡 | 出雲国分寺 跡 | 松江市竹矢町442-4、 454-6、453-11 | 松江市教育委員会 江川幸子 | 706 | 210713 - 210930 | 道路(八重 垣神社竹矢 線竹矢工区) |
| 18 | 集落跡 | 石見銀山遺 跡 | 大田市大森町字下川 原下組東平=4番地3 | 大田市教育委員会 新川 隆 | 32 | 210721 - 220831 | 遺跡整備 |
| 19 | その他の 遺跡(城 下町遺跡) | 津和野城下 町遺跡 | 鹿足郡津和野町後田 口463番3 | 津和野町教育委員会 中井将胤 | 4 | 210721 - 210731 | 店舗 |
| 20 | 生産遺跡 | 石見銀山遺 跡 | 大田市大森町ホ55、 ホ55-1、ホ55-3、ホ 58-1 | 大田市教育委員会 長嶺康典 | 56 | 210713 - 220331 | 遺跡整備 |
| 21 | その他の 遺跡(城 下町遺跡) | 津和野城下 町遺跡 | 鹿足郡津和野町後田 口65番28 | 津和野町教育委員会 中井将胤 | 4 | 210721 - 210731 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 22 | 城館跡 | 益田氏城館 跡(三宅御 土居跡) | 益田市三宅町口1224、 口1225、口1226、口12 27、口1228-2、口1232、 口2708、口2709 | 益田市教育委員会 松本美樹 | 252 | 210901 - 211225 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 23 | その他の 遺跡(庭 園) | 医光寺庭園 | 益田市染羽町口195 | 益田市教育委員会 松本美樹 | 20 | 210817 - 210831 | 遺跡整備 |
| 24 | 生産遺跡 | 田儀櫻井家 宮本鍛冶山 内遺跡 | 出雲市多伎町奥田儀 419番地 | 出雲市 中尾一彦 | 8 | 210901 - 211231 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 23-1 | 散布地 | 島根大学構 内遺跡 | 松江市西川津町1060 | 島根大学 会下和宏 | 139 | 210918 - 211117 | その他開発 (アンテナ 設置) |
| 25 | 生産遺跡 | 石見銀山遺 跡 | 大田市大森町イ1625、 イ1627、イ1628 | 大田市教育委員会 新川 隆 | 8 | 210901 - 211231 | 保存目的の 範囲内容確 認調査 |
| 26 | 生産遺跡 | 室原山1号 製鉄遺跡 | 邑智郡邑南町日和 3254番地29 | 邑南町教育委員会 角矢永嗣 | 600 | 210924 - 211222 | 農業基盤整 備事業 農 林道 |
| 27 | 生産遺跡 | 室原山2号 製鉄遺跡 | 邑智郡邑南町日和 3254番地15 | 邑南町教育委員会 角矢永嗣 | 200 | 210924 - 211222 | 農業基盤整 備事業 農 林道 |

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|---------------|-------------------|---|------------------|-----------------------|------------------|---------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 28 | 散布地社寺跡 | 神門寺付近遺跡 | 出雲市塩冶町826-13 | 出雲市 曾田辰雄 | 30 | 210924 - 211030 | 道路 |
| 29 | 社寺跡 | 出雲国分寺跡 | 松江市竹矢町442-4、454-6、453-11 | 松江市教育委員会 | | 210930 - 211030 | |
| 30 | 散布地 | 地蔵前遺跡 | 松江市美保関町千酌196 | 松江市教育委員会 錦織慶樹 | 19 | 211020 - 211109 | 農業基盤整備事業 |
| 31 | 集落跡 | 大庭住宅東遺跡 | 松江市大庭町10-2 | 松江市教育委員会 川上昭一 | 51.92 | 211013 - 211023 | 集合住宅 |
| 32 | その他の墓 | 堀尾忠氏墓 | 安来市広瀬町富田2031及び同2038 | 安来市教育委員会 舟木 聡 | 20 | 210928 - 211009 | 保存目的の範囲内容確認調査 |
| 33 | 集落跡 | 上講武清水遺跡 | 松江市鹿島町上講武840-2 | 松江市教育委員会 廣濱貴子 | 184 | 211020 - 211228 | 道路 |
| 34 | 集落跡 | 中須東原遺跡 | 益田市中須町97,98,102,103,114,119,121,132,137 | 益田市教育委員会 | 300 | 211106 - 2202026 | 保存目的の範囲内容確認調査 |
| 35 | その他の遺跡(城下町遺跡) | 松江城下町遺跡(母衣町40番地他) | 松江市内中原40番地 | 松江市教育委員会 川上昭一 | 16 | 211102 - 211110 | その他建物(日赤庁舎) |
| 36 | その他の遺跡(城下町遺跡) | 西川津遺跡 | 松江市西川津町1224,1224-1,1225,1226-3,1227-3 | 松江市教育委員会 飯塚康行 | 6 | 211102 - 211110 | 集合住宅 |
| 37 | 散布地 | 来美南遺跡 | 松江市山代町698-1 | 松江市教育委員会 石川 崇 | 156 | 210413 - 210529 | 集合住宅 |
| 38 | 散布地 | 中坪遺跡 | 松江市西尾町525-1から529-2までの区間 | 松江市教育委員会 川上昭一 | 9 | 211116 - 211120 | 道路 |
| 39 | その他の遺跡(街道跡) | 銀山街道跡 | 邑智郡美郷町酒谷11番地先～14番地1先 | 美郷町教育委員会 振井久之 | 242 | 211120 - 211230 | 農業基盤整備事業 |
| 40 | 散布地 | 高岡Ⅱ遺跡 | 出雲市高岡町416-2、417-2、418-3 | 出雲市 遠藤正樹 | 500 | 211119 - 220312 | 道路 |
| 41 | 散布地・生産遺跡 | 道平遺跡 | 江津市桜江町字道平801 | 江津市教育委員会 梅木茂雄 | 400 | 210502 - 210930 | 農業基盤整備事業 |
| 42 | その他の墓 | 波来浜遺跡 | 江津市後地町4438-2 | 江津市教育委員会 梅木茂雄 | 8000 | 210101 - 221031 | 保存目的の範囲内容確認調査 |

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|-------------|---------|---|------------------|-----------------------|----------------|---------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 43 | その他の遺跡(街道跡) | 浜田三隅往還 | 江津市桜江町字道平909-7、801、910-5、911-3、911-6、910-19 | 江津市教育委員会 梅木茂雄 | 2550 | 211101-220330 | 農業基盤整備事業 |
| 44 | 集落跡 | 西持田山巻遺跡 | 松江市西持田町字山巻744番3 | 松江市教育委員会 赤澤秀則 | 140 | 211214-211222 | 個人住宅 |
| 45 | 集落跡 | 酒屋原遺跡 | 益田市美都町仙道 | 益田市教育委員会 大野芳典 | 50 | 211207-22年1月中旬 | 道路 |

県(※平成21年12月28日までに通知のあったもの)

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|------|-----------|--------------------|-------|-----------------------|---------------|-------------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 1 | 集落跡 | 片良ヶ平遺跡 | 浜田市原井町2281-4外 | 東森 晋 | 40 | 210415-210423 | 道路(一般国道9号浜田三隅道路) |
| 2 | 散布地 | 川立遺跡 | 出雲市多伎町口田儀1180-1外 | 平石 充 | 1,000 | 210420-210731 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 3 | 集落跡 | 寺ヶ駅遺跡 | 浜田市西村町1788外 | 東森 晋 | 60 | 210424-210507 | 道路(一般国道9号浜田三隅道路) |
| 4 | 集落跡 | 堤ヶ駅遺跡 | 浜田市西村町1909外 | 東森 晋 | 60 | 210508-210515 | 道路(一般国道9号浜田三隅道路) |
| 5 | 集落跡 | 山持遺跡 | 出雲市西林木町 | 東山信治 | 4,300 | 210511-211225 | 道路(国道431号東林木バイパス) |
| 6 | 古墳 | 砂原車廻古墳群 | 出雲市多伎町多岐1610-1外 | 今岡一三 | 800 | 210511-210703 | 道路(多伎インター線) |
| 7 | 集落跡 | 新井 I 遺跡 | 浜田市西村町1910-6 | 東森 晋 | 90 | 210518-210526 | 道路(一般国道9号浜田三隅道路) |
| 8 | 散布地 | 客土遺跡 | 松江市西尾町610外 | 伊藤徳広 | 1,500 | 210518-210630 | 道路(松江第五大橋) |
| 9 | 集落跡 | 古屋敷 II 遺跡 | 松江市西川津町字古屋敷3337-1外 | 原田敏照 | 500 | 210518-210831 | 道路(松江島根線) |
| 10 | 城館跡 | 長池 I 遺跡 | 松江市下東川津町852外 | 内田律雄 | 35 | 210520-210731 | 道路(松江第五大橋) |

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|-----------|-------------|------------------------|-------|-----------------------|--------------------|-------------------------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 11 | 古墳 | 一の谷古墳 | 松江市下東川津町 字苅捨1373 | 伊藤 智 | 2,900 | 210520 - 211030 | 道路(国道 431号川津 バイパス) |
| 12 | 古墳 | 新井Ⅱ遺跡 | 浜田市西村町1910-6 | 東森 晋 | 30 | 210527 - 210602 | 道路(一般 国道9号浜 田三隅道路) |
| 13 | 集落跡 | 湯里天神遺 跡 | 大田市温泉津町湯里 中組1722外 | 岩橋孝典 | 250 | 210529 - 210831 | 道路(一般 国道9号仁 摩温泉津道 路) |
| 14 | 散布地 | 後畑遺跡 | 出雲市多伎町小田 1234外 | 間野大丞 | 400 | 210601 - 210831 | 道路(一般 国道9号多 伎朝山道路) |
| 15 | 散布地 | 菅沢遺跡 | 出雲市多伎町小田 2332外 | 平石 充 | 5,000 | 210601 - 211225 | 道路(一般 国道9号多 伎朝山道路) |
| 16 | 官衙跡 | 史跡出雲国 府跡 | 松江市大草町509-1 外 | 神柱靖彦 | 600 | 210601 - 211130 | 学術調査 |
| 17 | 集落跡 | 平岩遺跡 | 浜田市西村町1927-2 | 東森 晋 | 20 | 210603 - 210608 | 道路(一般 国道9号浜 田三隅道路) |
| 18 | 集落跡 | 堂ノ上遺跡 | 益田市久城町257外 | 丹羽野裕 | 4,000 | 210608 - 211218 | 道路(一般 国道9号益 田道路) |
| 19 | 古墳 | 貝先遺跡 | 松江市上東川津町 字八色谷614-2外 | 伊藤徳広 | 300 | 210622 - 210724 | 道路(松江 第五大橋) |
| 20 | 古墳 | 朝倉古墳 | 大田市朝山町朝倉 1358外 | 間野大丞 | 200 | 210706 - 210807 | 道路(一般 国道9号多 伎朝山道路) |
| 21 | 古墳 | 米坂古墳群 | 松江市西尾町845-1 外 | 伊藤徳広 | 5,700 | 210727 - 211218 | 道路(松江 第五大橋) |
| 22 | 集落跡 | 長池Ⅱ遺跡 | 松江市下東川津町 長池 | 内田律雄 | 600 | 210803 - 210930 | 道路(松江 第五大橋) |
| 23 | 城館跡 | 東城蓮城跡 | 大田市朝山町朝倉 1901外 | 間野大丞 | 200 | 210810 - 210904 | 道路(一般 国道9号多 伎朝山道路) |
| 24 | 散布地 | 丸尾Ⅱ遺跡 | 大田市朝山町朝倉 199-1外 | 間野大丞 | 100 | 210826 - 210911 | 道路(一般 国道9号多 伎朝山道路) |
| 25 | その他の 墓 | 宇福遺跡 | 大田市仁摩町馬路 1578-1外 | 岩橋孝典 | 20 | 210831 - 210903 | 道路(一般 国道9号仁 摩温泉津道 路) |

| 番号 | 対象遺跡 | | | 発掘届出書 | | | 調査の目的 ・契機等 |
|----|------|--------|---------------------|-------|-----------------------|---------------|------------------|
| | 種別 | 名称 | 所在地 | 発掘担当者 | 発掘面積(m ²) | 発掘予定期間 | |
| 26 | 集落跡 | 番貫Ⅰ遺跡 | 松江市下東川津町番貫 | 宮澤明久 | 1,800 | 210901－211030 | 道路(松江第五大橋) |
| 27 | 集落跡 | 朝倉遺跡 | 大田市朝山町朝倉823外 | 間野大丞 | 100 | 210902－210918 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 28 | 散布地 | 滝が谷遺跡 | 出雲市多伎町久村1594外 | 平石 充 | 150 | 210910－211031 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 29 | 集落跡 | 上谷遺跡 | 大田市朝山町上谷920外 | 間野大丞 | 150 | 210916－211016 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 30 | 集落跡 | 貝先遺跡 | 松江市上東川津町字八色谷614-2外 | 内田律雄 | 700 | 211013－211218 | 道路(松江第五大橋) |
| 31 | 散布地 | 砂原Ⅰ遺跡 | 出雲市多伎町多岐107-1外 | 勝部智明 | 60 | 211013－211031 | 道路(多伎インター線) |
| 32 | 集落跡 | 野広遺跡 | 鹿足郡津和野町直地字屋敷1049-4外 | 宮本正保 | 7,800 | 211014－211113 | 道路(一般国道9号直地防災工事) |
| 33 | 集落跡 | 高浜Ⅰ遺跡 | 出雲市高岡町662外 | 今岡一三 | 800 | 211019－211210 | 道路(矢尾今市線) |
| 34 | 古墳 | 藤廻遺跡 | 松江市上東川津町字岡屋敷1330外 | 原田敏照 | 97 | 211019－211028 | 道路(松江第五大橋) |
| 35 | 集落跡 | 青野遺跡 | 出雲市多伎町小田2604-12外 | 間野大丞 | 150 | 211020－211106 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 36 | 城館跡 | 仲田遺跡 | 松江市上東川津町字岡屋敷1332外 | 原田敏照 | 3,729 | 211029－211106 | 道路(松江第五大橋) |
| 37 | 集落跡 | 赤谷遺跡 | 出雲市多伎町口田儀299-11外 | 間野大丞 | 250 | 211109－211218 | 道路(一般国道9号多伎朝山道路) |
| 38 | 集落跡 | 片良ヶ平遺跡 | 浜田市熱田町93-1外 | 東森 晋 | 1,150 | 211116－211218 | 道路(一般国道9号浜田三隅道路) |
| 39 | 古墳 | 廟所古墳 | 松江市西尾町1044 | 大庭俊次 | 32 | 211118－220123 | 学術調査 |
| 40 | 集落跡 | 西川津遺跡 | 松江市西川津町字鶴場 | 原田敏照 | 300 | 211124－220129 | 道路(松江島根線) |
| 41 | 集落跡 | 番貫Ⅱ遺跡 | 松江市下東川津町番貫 | 宮澤明久 | 4 | 211126－211204 | 道路(松江第五大橋) |

VII 刊 行 物

1. 埋蔵文化財調査センター年報17

平成21年3月刊行。発行部数650部

2. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

| 名 称 | 発 刊 月 | 部 数 | 内 容 |
|----------------------|----------|--------|--|
| ドキ土器まいぶん NO.46 夏号 | 平成21年7月 | 14,000 | 特集：発掘調査でわかった道、夏の発掘調査ガイド（一の谷古墳、佐太前遺跡）、まいぶん施設紹介、心に残る文化財子ども塾実施校一覧 |
| ドキ土器まいぶん NO.47 秋号 | 平成21年10月 | 14,000 | 特集：出雲国誕生と奈良の都、秋の発掘調査ガイド（古屋敷Ⅱ遺跡、道平遺跡ほか）、夏休みの古代体験の様子 |
| ドキ土器まいぶん NO.48 冬号 | 平成22年1月 | 14,000 | 特集：新発見！鳥取島根発掘速報展、冬の発掘調査ガイド（隠岐国分寺現本堂跡、出雲国分寺跡ほか）、秋のイベントの様子 |
| ドキ土器まいぶん NO.49 春号 | 平成22年3月 | 14,000 | 特集：春は遺跡公園へ行こう！、春の発掘調査ガイド（廟所古墳、西川津遺跡ほか）、冬のイベントの様子 |

3. 発掘調査報告書

| 報 告 書 名 | 編集担当者 | 遺 跡 の 概 要 |
|---|-------|--|
| 大志戸Ⅱ鉦跡（分析篇） 中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財調査報告書17 | 足立克己 | 大志戸Ⅱ鉦跡の調査では、4基の長方形箱形製錬炉を調査した。2号炉は13世紀後葉、1号、3号、4号炉は16世紀～17世紀前半である。いずれの炉も花崗岩起源の低チタン砂鉄を原料として用いている。遺構篇・鉄関連遺物篇は平成20年度に刊行済み。本報告書は、その製鉄関連遺物に関する金属学的調査の結果報告である。 |
| 堂々ノ内Ⅰ遺跡・堂々ノ内Ⅱ遺跡・堂々鉦跡 中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財調査報告書19 | 足立克己 | 堂々ノ内Ⅰ遺跡では、長方形炉床部の両側に楕円形の排滓土坑が取り付け鉄アレイ形の製鉄炉跡1基（14世紀～15世紀初め）と精錬鍛冶炉跡1基、堂々ノ内Ⅱ遺跡からは同様の鉄アレイ形製鉄炉跡1基（13世紀末～14世紀）と長方形の大型の炭窯跡2基を検出した。どちらの製鉄炉も低チタン砂鉄を原料として用いる。堂々鉦跡からは排滓場の一部を検出した。 |
| 志谷Ⅲ遺跡・安神本遺跡 中国横断自動車道尾道松江線建設予定地内埋蔵文化財調査報告書20 | 足立克己 | 志谷Ⅲ遺跡からは、古墳時代の円墳や飛鳥時代～奈良時代の加工段と掘立柱建物跡及び竪穴住居跡、平安時代～鎌倉時代の炭窯跡等のほか、縄文時代早期～晩期のビット群や土坑、土器・石器等が出土した。安神本遺跡では、江戸時代以降に行われたと推定される大規模な鉄穴流し跡を調査し、切羽の跡や水路跡、ため池状遺構等を確認した。 |
| 一般国道9号仁摩温泉津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書3 梨ノ木坂遺跡・庵寺古墳群・庵寺遺跡Ⅱ | 大庭俊次 | 梨ノ木坂遺跡は、石見銀山に通じる温泉津沖泊道に接続する主要な中近世の街道である。庵寺古墳群は、八禽鏡を副葬する石棺墓群をもつ前期古墳群と横穴式石室を持つ後期古墳が狭い尾根上に位置する古墳群である。 |
| 山持遺跡vol6：4.6.7区 国道431号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8 | 廣江耕史 | 弥生時代後期～江戸時代にかけての複合遺跡。4区から弥生時代後期後葉の土器群。6区から弥生時代後期後葉の土器群、古代の道路跡である連続ビット群を検出。弥生土器には朝鮮半島系の土器、北部九州系の土器を含む。7区から古墳時代中期の溝を検出している。 |

| 報 告 書 名 | 編集担当者 | 遺 跡 の 概 要 |
|---|----------------------|---|
| 庄遺跡・深坪遺跡（仮称）宍道駅南団地開発に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 | 久保田一郎 | 庄遺跡は奈良～平安初期を中心とする炭溜まり跡を確認。灯明皿形土器、石帯などが出土。深坪遺跡は奈良時代の集落跡を確認。出土遺物は奈良時代～中世後期が中心で、須恵器、土師器、輸入陶磁器、瀬戸・美濃系陶器が出土。少数の墨書土器を含む。 |
| 一般県道多伎インター線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 砂原車廻古墳群・砂原Ⅰ遺跡 | 今岡一三 勝部智明 | 砂原車廻古墳群は3基の小規模な古墳で構成され、今回は1号墳の調査を実施した。その結果、明確な古墳に伴う遺構は検出されず、区画溝、加工段、ピット群を検出した。砂原Ⅰ遺跡は旧石器時代の遺跡として調査を実施したが、それに伴う石器は確認できなかった。 |
| 一般国道9号（浜田・三隅道路）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書1 道休畑遺跡 | 柳浦俊一 | 道休畑遺跡は弥生時代後期を中心とした遺跡で、竪穴住居跡16棟・掘立柱建物跡26棟・貯蔵穴12・土坑13などを検出。 |
| 一般国道9号（益田道路）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 久城東遺跡・若葉台遺跡・久城西Ⅰ遺跡・久城西Ⅱ遺跡・原浜遺跡 | 丹羽野裕 柳浦俊一 池淵俊一 | 久城東遺跡は主に古代の掘立柱建物跡を中心とした集落跡である。若葉台遺跡は、縄文時代の落とし穴と古墳時代中期の集落跡（竪穴住居跡2他）が検出された。久城西Ⅰ遺跡は弥生時代後期の集落跡（竪穴住居跡2）、古墳時代中期の集落跡（竪穴住居跡3など）が検出された。久城西Ⅱ遺跡では落とし穴状遺構の他、旧石器時代末から縄文時代草創期にかけてのポイントが出土している。原浜遺跡では弥生時代後期の竪穴住居跡1や古代の炭窯跡などが検出されている。 |
| 一般県道久城インター線（久城工区）地方交付金道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 堂ノ上遺跡 | 宮本正保 | 弥生時代後期の集落跡。竪穴住居5棟（うち3棟は焼失住居）、掘立柱建物1棟、加工段6などを検出。このほか、奈良時代の掘立柱建物・溝状遺構を確認し、遺物では縄文時代草創期の有舌尖頭器が出土。 |

4. 発掘調査概報

| 名 称 | 発行部数 | 概 要 |
|----------|--------|------------------------------|
| 『石見路の言伝』 | 11,000 | 益田道路・浜田三隅道路にかかる平成21年度の発掘調査成果 |

5. 発掘調査だより（各調査事務所発行）

| 名 称 | 事 業 名 | 発 行 月 | 発行部数 | 配 布 先 |
|--------|-------------|--------------------|-------|------------------------|
| 意宇の森 | 風土記の丘地内発掘調査 | 5月・12月 | 500 | 地元公民館 |
| なきすな街道 | 仁摩温泉津道路 | 6月・10月 | 461 | 地元小中学校・教育委員会・公民館・自治会など |
| 石見路の言伝 | 浜田三隅道路 | 4月 | 1,300 | 地元小中学校・教育委員会・公民館・自治会など |
| 石見路の言伝 | 益田道路 | 6月・7月・8月 9月・11月 | 1,300 | 地元小中学校・教育委員会・公民館・自治会など |

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報18

発行日 2010年3月31日
編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
松江市打出町33番地
Tel. 0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>
Eメール maibun@pref.shimane.lg.jp

印刷 (有) 松本印刷

本文はR100再生紙を利用しています。